

下呂地域

庁舎の一本化に関する市民ワークショップ意見発表

日 時 平成 26 年 5 月 9 日 午後 7 時 30 分～午後 9 時 20 分

出席者 28 人（4 グループ）

会 場 下呂市民会館大会議室

○A グループ

A グループの皆さんの意見としましては、まず市役所と振興事務所のそれぞれの役割という中で、意見が、便利なものがいいというもの、なるべく最小限、シンプルであってほしいというふうな御意見という形であります。

具体的に、この便利というのは、例えば本庁舎をイメージされて、用事がその建物で一度で済む、そういったものであってほしいというところです、振興事務所においても。

それから、今度は反対に、振興事務所についてはもう必要最小限でいいよと。総花的なものであってもなるべくシンプルにしていって、極論を言いますと、最終的には不要というような形も考えていったらどうかということです。そのかわり、それを補うものとしては、高度な技術が今あるでしょうということです。そういったもので申請もできますし、郵便局さんもございますし、そういったものでできるんじゃないかということです。なので、振興事務所なしで、本庁舎だけでよいと思う。例えば具体的に都市名を挙げられたんですが、名古屋市とかでも、そういった支所とかになればもちろん小さいでしょうというようなところ。それから、最小限の住民サービスでいいのではないかということです。人口はますます減っていくのに、それぞれにある分はぐっと絞ったほうがいいんじゃないかというような意見もございました。またこちらの意見が後にもちょっと反映はされていきます。

それから、庁舎の一本化と新庁舎に望むものというところでございますけれども、具体的な建物をイメージされての御意見があったんですが、まずは省力化できる庁舎づくり、機能性を重視していただきたい。それから、人件費の減少ということで、後世に借金をつくってほしくないというところがございます。

それから、今度は反対に、複合的で、高齢者の方も気楽に集まることができるということで、高齢者に配慮した建物づくり、それから新庁舎の多目的使用ということで、多目的というのは高齢者の方もそうなんですが、それとは全く別で、実際下呂市は観光のまちでしょうということで、市民も便利なんですが、観光客の方にも対応できるような建物であってほしいという御意見です。こちらの下も同様です。世界と日本全国からお客様が見えるので、そういった方々にも便利な立派な建物をつくってほしいという御意見がございました。

今ここに、真ん中にありますが、こちらの御意見は、今のどちらにも属することです。便利で、なおかつ省力というようなことでもございました。新しい情報システムを積極的に利用していただく建物、こういったものを使えば、効率的で便利なものができるので、最新の技術をなるべく取り入れていただきたいということです。こちらが、こちらの御

意見にも同じようにリンクしてくるかと思います。

最後ですが、新庁舎の場所を決める重要なポイントということで、主に4つに分けさせていただきました。ちょっとペンが途中でとまって申しわけないですが、まず1つは交通の利便性ということです。実際、下呂駅を想定されてみえますが、アクセスのよいところということです。交通がやっぱり便利じゃないと、交通弱者、高齢者の方も不都合でありますということです。

それから次ですが、跡地というふうに分けさせていただきました。これは、今の下呂温泉病院の跡地でした。こちらのほうは、なぜかという理由は、土地の確保がしやすいところが重要なポイントではないか。それから、駅から近いほうがいいでしょうということです。それから、人口も下呂市の中心、それと交通の便というところと、具体的に交通の便のよいところであっている場所はということで、跡地というふうに分けさせていただきました。

便利なところ、交通の便というのがあったんですが、あともう1つは、実際冒頭の説明でもあった中で、もう期限がないんじゃないかというような話がありました。期限がないということで、跡地をどう選ぶんだということで、具体的に場所を示されたような意見がございました。それから、期限と経費ですね、購入する土地はほかにありますかというような意見がありました。

それから次ですが、観光の面でありました。年間100万人の方が来られる下呂の場所がよろしいんじゃないかというようなところ、それから人口の中心である三名泉の一つで観光的なところでも、観光客の方が見えるというようなところです。

それから、こちらは観光というところとちょっと別にさせてもらったんですが、将来の展望、夢というふうに分けさせていただきました。こちらは、将来の若い人が夢を持てるような庁舎にしてもらいたい。それから、観光立町らしい活力あるまちづくりに若者が定着してもらえるような場所であってほしいということです。

あと、こちらとこちらのちょうど間になるんですが、観光という面と、それから全国的会議の誘致ということで、実際観光で宿泊の施設もありますし、会議も行えるような場所で庁舎があれば、なおかつその庁舎がそういった会議を行えるような建物であればいいなあというような御意見がございました。

OBグループ

まず市役所、振興事務所の役割というところで、主な意見としましては、やはり1カ所で総合的な判断をしていけるような市役所にしてほしいという意見が多くありました。また、本課と言われるのがやはり本庁にあってしかるべきだという御意見、それから市民が集まれるような市役所になってほしいというような御意見がありました。

あと、それとはまた反対に、これはまたちょっと別の意見になるんですが、庁舎が一本化されても、やはり振興事務所というのは一番利用される施設であると。これもやはり重要な施設ではないかという、今までの意見とは相反するような意見がございました。

それから、庁舎の一本化と新庁舎に望むものということで、やっぱり太陽光発電等を取り入れるとか、バリアフリーの施設、それからわかりやすい庁舎内の案内等が大前提

ではなかろうかという御意見と、先ほどから合併特例債という意見があったんですが、やはり将来を見据えると、できるだけ借入金は抑えながら建設すべきではないか。それから、10年、15年先を見据えた庁舎を建設すべきだという御意見がありました。これはまたちょっと後に関連する項目が出てきますが、あとは複合施設、やはりこういう観光のまちでありますので、庁舎という行政の建物ではありますが、やはり複合施設ということで、そういったランドマーク的な施設も必要ではないかという御意見もありました。

それから、3番目の新庁舎の場所を決めるための重要なポイントということですが、やはり車、J R等で利用が一番しやすい場所がいいんじゃないかということで、交通の利便性を上げる声が一番多かったと同時に、あとは、やはり人口の中心地が一番場所としては理想ではないかという御意見がありました。

あと、これからまたいろいろ各地域を回ってこういう説明会があるんですが、高所見地で、我田引水という立場ではなく、大局的に高所見地で見て、実際の場所を決めていただきたいと。それには、実際それぞれの意見交換も必要ではないかという御意見がありました。

あと、これは重要なポイントとはちょっとまた外れるかもしれませんが、きょう、たまたま若い方が割と見えないということで、操法時期にも重なっておるということなんです、やはりこれからを考えると、若い世代にもこういったことを考える機会をもっともって与えていくのがいいんじゃないかという御意見がありました。

最終的には、ここの6名のグループでも、やはり新築一本化ということを明確にうたって進むべきだという御意見もある反面、もっともっと意見を皆さんから取り寄せて、慎重に進めたほうがいいんじゃないかというような、ちょっと相反するような御意見があったことも事実です。

〇Cグループ

それでは、Cグループでございます。

テーマ1つ目の市役所・振興事務所の役割ということでありますけれども、大きく振興事務所と市役所について意見がそれぞれ出ております。

振興事務所については、まずこれまでの機能を維持する、これまでの役場の主体的な役割は持った状態のものがいいという意見。それから、地域づくり、あるいは地域経済をサポートするような役割を担ってほしいという意見が振興事務所のほうにありました。

一方、市役所に求めるものでありますけれども、まずは今回の説明の中で職員数 250名という説明があったけれども、果たして 250名という職員数で行政サービスがやっていけるのか。サービスの低下を懸念するというような意見もありましたし、市役所については、思ったこととか、気軽に訪れられる、そういう場所になってほしいというような意見がありました。

一方で、先ほどの振興事務所の話じゃないですけれども、求めるこれまでの機能の維持、あるいは地域づくりとかのサポートを求める意見もあれば、一方でこれからの振興事務所のあり方について、どうなっていくのかという不安が残るような意見もあったというものです。

テーマ2つ目の庁舎の一本化と新庁舎に望むものについてでありますけれども、まず上のところが経費についてまとめています。

まずは、やはり安価な建物を求めるというものです。下呂市の財政状況も考えると、やはり安価なものがいいという意見がありましたし、一方で、職員の削減によって、必要となる庁舎の建設経費も何とか出るのではないかなという意見も出ています。

一方で、相反するような形になるかもしれませんが、長い目で見ると、そうお金も安価というよりは、しっかりとした建物を建てるべきだという意見も出ています。高くてもやむを得ないだろうと。ここについては、今回の経費について出ていましたけれども、人口とかの割合で見ると、経費云々よりも、しっかりとした建物を長い目で見て建築すべきだという意見も出ていました。

今度は機能についてです。

機能については、具体的な話を幾つか言うと、シェルター機能があったらどうだ、バリアフリーはどうだ、図書館機能を含めたらどうだ。例えばですけれども、どちらかの自治体にあったと思いますが、例えばツタヤさんとか、そういったところが入るといいなというような意見。それから、駐車場は広いほうがいいというものです。

今度は、今のことを機能とはまた別に、市役所に求める一つとして、あらゆる人材を、例えばシルバーさんとかを業務に人材活用することによって、職員の削減も図れるのではないかなという意見も出ています。庁舎の一本化によって、こんなこともできるのではないかなということでありました。

3つ目、新庁舎の場所を決める重要なポイントということで、場所についての意見がありますけれども、1つ目が、やはり大方が距離の中心、北が小坂、南は金山、あるいは馬瀬のところも考えて、距離的に中心になる場所はどうかなという意見。それから、同じく今度は人口の中心、経済活動の中心といった意見が出ています。

具体的などころになりますけれども、ずばり下呂温泉跡地はどうだというような意見なんですが、こちらについては、まず現在の跡地が利用できるということ、それから公共交通機関である駅に近いということ、それから駐車場を広くとれるといった理由から、下呂温泉病院の跡地はどうかなという、具体的な場所の意見がありました。

それから、先ほども駐車場に関するものがありますけれども、駐車場の面から、駐車場の中の場所が広くとれるのは下呂ではないかなという意見です。

さらに、より具体的な話になりますけれども、まずは現在の下呂中に庁舎を建てたらどうかと。じゃあ、現在の下呂中はどうなるかというと、竹原中と統合して、竹原中の現在の場所へ持っていくということ。現庁舎は当然残ったままになるので、現庁舎については観光の場としていったらどうだというような意見がありました。

今回、この3つのテーマ、ちょっと分類が難しかったんですけども、率直な意見といたしまして、現在の下呂市の財政状況を考えたときに、今までの振興事務所を含めた5つの庁舎を修繕したり、耐震工事をして維持していくほうがいいのか、あるいは新築を建てたことによって将来負担が当然伴ってくるんですけども、このお金を今後負債をためていくほうがいいのか、それとも財政状況から、正直言って、どちらがいいのかなというところはまだわからないよというような意見も出ています。

ODグループ

まず、1つ目のテーマの市役所・振興事務所の役割ということで話し合いを行いました。

こちらのグループで強かったのは、振興事務所であれ、本庁であれ、総合的な窓口であってほしい。いろいろそこで用事が済んでほしいという御意見が強かったように思います。振興事務所で用事が済めば、大変ありがたいという御意見もありました。

それに関して、窓口の対応についてあったんですが、OBの方を御利用していただければ、わかってみえるので、そこで総合的にすんなりと事は済むのではないかという御意見があったりとか、窓口は総合的で、振興事務所で用事が済むようにしてほしいという面でもっと深い部分でいくと、電子機器がいろいろ発達しておりますので、そこで振興事務所と本館をつないだものを何か一つ持っていて、連絡がスムーズに行くようなシステムをつくってほしいという、外見の件ですね、つくってほしいという意見があったのと、もう1つは中身の面で、下からの御意見も上まで必ず情報としてすぐ伝えられるように、振興事務所と本館の連絡を必ずとれるような役割を持っていれば、総合的な窓口として行っていけるのではないかというお話がありました。

あとは、金融関係がちょっと密接しておることが多いので、窓口と金融関係を密接して建ててもらいたいという役割を持っていればありがたいなあというお話もありました。

振興事務所・市役所の役割としては、あとはどんな人でも訪れやすい場所であるべきはないかということで、別の御意見でしたけれども、建物の雰囲気であったりとか、見た目だけではなくて、中の感じも大切にしてほしいということで、役割のところでも出てきました。

2つ目に行きます。

次は、庁舎の一本化と新庁舎に望むものということで、ここにたくさん附箋が張ってあるのは、建物について特に意見が多かったんですけれども、観光客の方が入りやすい建物であったりとか、きれいな建物、市民が集える庁舎であってほしい、下呂市の顔であってほしい、あとは新築を望んでいるという御意見がありました。

建物の中身までのことになると、今はカウンターの高さが高かったり、訪れた人が使いやすい機能的な設備を建ててほしいということで、御意見が建物について出ております。

建物に付随して、駐車場は広くあってほしい。あとは、今建物について出ていますが、その建物について、広さが 6,000 平米要るというお話があったんですけれども、その点につきましては、今から人口が減る中で、本当に 6,000 平米も要るのかなあというところをもう一度考え直してほしいという御意見がついてきました。

建てるに当たっては、職員の対応であったりとか、人数に対しての御意見も4つ出ています。

ここでもあったんですけれども、新庁舎を一本化した場合には必ずハウレンソウということで、報告、連絡、相談というものを大切にもらって、仕事をしてもらいたい

という意見がありました。一本化したことによって、今より不便になることを望んではいないという御意見もあります。

ここに一つくくってあるのが、新庁舎を建てるのであれば、合併特例債を利用して、早急に一本化を行ってほしいという御意見がありました。

3つ目に行きます。

新庁舎の場所を決めるための重要なポイントということで、一番多かったのが、交通の便がいいところ、ＪＲであったり、バスであったり、車以外の人を訪れるのにいいところにしてほしい。次に多かったのが、発展性が見込まれるところであったりとか、知名度が高いところに建ててもらいたいというところで、適正な場所をそこで決めてもらいたい。あとは、温泉が有名であるので、そちらのほうで、外からお見えになる人、下呂市以外から見える方であったりとか、外国の方が見えても、下呂庁舎はここですよということで、すぐわかりやすい場所に建ててもらいたいという御意見もありました。

重要なポイントとしては、中心地に建てるべきではないかということで、人口的にもそうですし、面積の上でも中心地に建ててほしいなあという御意見があります。

ほかのところでは、敷地について広いところが必要なので、まず敷地の面で広いところという御意見でした。

あとは、阿寺断層を避けて、防災に強いところに建ててほしいという御意見がありました。

以 上

金山地域

庁舎の一本化に関する市民ワークショップ意見発表

日 時 平成 26 年 5 月 13 日 午後 7 時 30 分～午後 9 時 30 分

出席者 33 人（4 グループ）

会 場 下原公民館ホール

○Aグループ

Aグループは、このような形の附箋を張りました。

テーマ1の市役所・振興事務所の役割についてどうですかというテーマでは、まずこちらの大きい附箋があるんですけども、振興事務所をどうするかというようなことを考えたときに、まだ行政の情報発信の量が少ないのではないかなあというような意見がございました。なので、ちょっと役割といっても難しいのではないかなあというような意見がございました。

あとこちらですね、振興事務所についてでございますけれども、振興事務所は今までどおり必要という意見でございます。そちらがこのような意見でございました。

あと、こちらは振興事務所の役割というか、要望というか、こういう振興事務所であつたらいいなあというものでございます。1つは、市民の生活等に対応するため、迅速に対応してほしいという意見がございました。あとは、振興事務所は地域を担う役割として、手続の機能だけでなく、もっと重要なものであるという意見でございます。

あとは、こちらはテーマ2の意見にも関係あるかと思いますが、建物の役割というところで意見をいただきました。

市のシンボリックな建物という役割があるんじゃないのかなあという意見をいただいております。

あとこちら、最後ですけども、具体的なことでございますが、金山の振興事務所では不自由はないですが、そのほかの各グループがわかりにくいというような意見をいただいております。

テーマ1については以上のような意見でございました。

テーマ2でございます。庁舎の一本化と新庁舎に望むものというものでございます。

まずわかりやすく、新庁舎、建物に望むものというところでございます。具体的には、設備についていただきました。庁舎にソーラー設備、太陽光発電という機能がいいんじゃないか。ランニングコスト等も安くできるというもの、もう1つはIT技術を使った設備、具体的にはウェブ会議システムということで、きょうのような、ここに皆さん集まっていいただいておるわけなんですけれども、そういうウェブ会議システムを使うことで、もっと効率がいいんじゃないのかということになります。そういうシステムが、設備があるといいなあというものでございます。

今度はこちらですけども、建物ではないんですけども、考え方、計画で意見をいただきました。

災害時に対応するプランというものもあわせて必要であるというものでございます。

新庁舎が地震で倒壊したというような場合も、この2つの考えの中に盛り込んでおかなければいけないなあという意見でございます。

今具体的なところを言わせていただきましたけれども、あとこちらは、庁舎の一本化についてはよいんじゃないかというようなところでございます。よいと思う行政の効率化を図るには、一本化が必要ではないかという意見でございます。

それと、あとこちらですね、今ある施設というものをできるだけ利用して、新庁舎をつくってほしいという意見でございます。この下のものは同じような意見でございますが、現在のこの振興事務所というものは耐震化もあり、ここがよいんじゃないかという意見でございました。

あとこちらの点では、特に経費の削減について意見をいただいております。庁舎の一本化ということで、職員数の削減で経費を削減して、財政を健全にしていってほしいという意見を2ついただいております。

こちらも費用はできるだけ抑えていくということですが、高齢化が進み、収入もなくなっていくので、考えてほしいという意見でございます。

あとこちらなんですけれども、こちらが賛成的な意見で、こちらが反対というような意見になるんですけれども、一本化については賛成ですが、新庁舎というものは要らないんじゃないかというようなものです。こちらは、合併特例債で苦しんでいる地区があったというようなテレビの特集もあったので、新庁舎の建設については反対だなあという意見でございました。

あと最後、ちょっとこちらを区別させていただいたんですけれども、一本化についてなんですけど、全てを一本化しなくてもいいんじゃないかという意見でございました。統合すべきものは統合するというような意見でございます。

最後、3番でございます。新庁舎の場所を決めるための重要なポイントです。

一番上のこちらが、地区名ですとか、そういうものではなく、地盤が強いところ、危機管理に強いところ、あとは国道沿いがいいということですね。あと、弱者の方でも新庁舎にアクセスできる場所がいいというような意見でございました。

あとは、この下がもう少し具体的な意見でございます。

こちらは、今後関や美濃加茂、岐阜とのつながりが重要になってくるので、南の位置のほうにつくることがいいんじゃないかという意見でございます。こちら、奥飛騨というのは言い過ぎじゃないかと。できるだけ南の地区のほうに建設していただきたいという意見でございました。

あとはそのほかでございますけれども、下呂市の中央に位置することが望ましいと思うが、まずは土地が確保できるかどうかを重点的に考えてほしいというところでございます。同じような意見で、用地の確保という点では問題ないのか、その辺は検討しているのかという意見でございました。

あと考えるに当たっては、今後何年か先の行政需要というものを見きわめて、位置を決めなきゃいけないというものでございました。

最後ですけれども、この中で具体的な場所の意見がございまして、金山町につくってほしいという意見もございました。下へ行けば行くほど具体的な意見であるかというも

のでございます。

OBグループ

まず1つ目の市役所・振興事務所の役割についての結果です。

上半分が振興事務所に求める役割、そして下が市役所に求める役割という形で分けさせていただきました。

まず振興事務所については、現在の機能を維持していくべきという意見がまず4件ほどありましたということ。それから、人づくり、まちづくりの拠点として担うべき、あるいは防災拠点として担うべきということの意見が出ています。

これまで本庁舎の組織の一本化というようなことを説明してきましたけれども、反対に振興事務所のほうは、権限を拡大して、組織を拡大したほうがいいのかという意見が出ています。これは、後ほどの庁舎の一本化と新庁舎に望むものの中でも関係してくる意見でありますけれども、意見としては、振興事務所のほうは権限を拡大し、組織のほうも拡大する。むしろ本庁の組織のほうをコンパクトにしたほうがいいのかという意見が出ております。また後ほど、その辺についても話をしたいと思えます。

そして今度は、市役所に求めるものでございますけれども、まず市役所庁舎の中には多面的な利用を求める。要は組織とか、特定の団体等の利用もしやすい建物を求めるというもの。それから、市役所には経営感覚のあるサービス、民営的なサービスを望むということ。そして、仕事上の話で、統一された組織が必要である。要は、仕事が1カ所で完結する。今現状、萩原とか下呂とかで分かれていると、意見も分かれてしまっている。そうではなく、しっかりとした統一された意見が出せる組織が求められるということ。そして、住民サービスとして、住民に待ち時間の少ないサービスを望むというもの。さらには、今度は建物、あるいは市役所の組織というか、職員の能力の向上を望むという意見がありました。

若干、この市役所・振興事務所の役割とは違いますけれども、意見としては、このままでは振興事務所がそのうちなくなってしまうのではないかとというようなことが懸念されるというような意見もございました。

続きまして、2の庁舎の一本化と新庁舎に望むものについてです。

若干、先ほどの振興事務所の権限の拡大と絡んだことをまず先に説明させていただきますと、今後の人口減少を考えていったときには、市の職員の数も少なくなるだろうと。本庁の人員はできるだけ少なくして、新市庁舎についてはコンパクトにする。中枢では意思決定権だけそこに持たせて、振興事務所については権限を拡大し、その後、振興事務所で決裁された事項は本庁で確認する、合議するというような程度の組織でいいのではないかとということで、ある意味、新庁舎の組織はコンパクトにすべきではないかという意見。それから、具体的な機能になってきますけれども、災害対応のできるような庁舎、地域の産業特産物の展示コーナーができるような庁舎、高齢者に優しい高齢者に対応されたような庁舎という意見です。

今までは機能についてでありましたけれども、今度は建設に当たってということで、

やはり建設に当たっての財源というのは非常に有利な合併特例債にすべきであって、そういう意味では、合併特例債を利用するために早く進めていただきたいというような意見がありました。

庁舎の一本化と庁舎に望むものの意見というか、質問事項も踏まえての意見であります。まずは今回の庁舎の一本化については賛成するという意見で、それに加えると、財源としては合併特例債が有利だろうという意見があったということ。それから、現在の計画で、職員の駐車場は入っていないけれども、どのような考えを持っているかということの質問。あるいは、先ほどITの話がありましたけれども、今ITの活用で、情報の共有が簡単になっていると。そういう意味で一本化が必要かどうかということ。それから、一本化しないときに、もうちょっとほかの方法で行政運営とか、行政組織を維持していけるのではないかとというような意見がここにありました。

そして、3つ目の庁舎の場所を決めるためのポイントです。

まず、大きく人口の中心となるところ、あるいは交通アクセスのよいところ、特に交通アクセスについては、高齢者の増加が考えられることから、JRの利用とかを含めた交通アクセスのよいところがいいのではないかとこのようなところがありました。

人口の中心地ということについては2つの意見がありました。1つは、まずは下呂市の中心、あるいは主要地というような意見もあれば、反対に対外的に、今後岐阜県内として、下呂市としては近隣の市町村等々のつき合いも出てくる。そちらへのアクセスもあるということを考えたときに、岐阜県の人口中心地に近い場所に庁舎をつくらたいのではないかとこのような意見です。ですので、人口中心地という考え方で下呂市の中心か、あるいは岐阜県の中心に近い場所かというような意見がありました。

一方、今のは交通、あるいは人口中心という話でありましたけれども、もう少し具体的にありまして、維持費がかからない。例えば雪が多いところになりますと、その雪の対処に当然維持費がかかってくると。そういう意味では北の方角ではなく、どちらかというと南、雪の少ない場所、雪の除去の起こらない場所というような形で、維持費のかからない場所がいいのではないか。あるいは、土地の取得費を含めた経済性があるところというのが意見で出ています。

これまでは人口の中心、交通アクセス等がありましたけれども、職員の立場からというようなことで言ういただきました意見があります。つまりは職員が仕事のしやすい、あるいは経済的なところという意味です。これについては、例えばですけれども、南は金山、それから北は小坂まで、当然一本化になれば職員が移動するわけなんですけれども、その移動の時間、あるいは移動に係る交通費、こういったことを考えた上での庁舎の場所を検討すべきではないかというような話がありました。

もう少し具体的な場所の特定がされてきた意見が下にあります。

実際、この金山振興事務所 4,000 平米あるというところ、それから耐震性も満たしているということであれば、残り 2,000 平米の不足分を賄うだけなので、金山振興事務所を中心に、残りの不足分を建設するという意見というものがありましたし、若干ちょっと違いますが、新庁舎を新築するのはいいけれども、やはり金山町は少し南へ離れているという意味で、新庁舎プラスアルファ金山町の庁舎のほうを位置づけというような形

の御意見がございました。

ここまでする程度ポイントとして上げさせていただいたところですが、若干質問、あるいはその他の意見といたしまして、やはり下呂市は広いので、なかなかここがいいのかというところが問題になってくるだろうと。あるいは、6,000 平米の土地を確保する広さがあるのかどうか。あるいは、現在の候補地といったものがどこにあるのかというような質問が出ております。

以上、簡単ではありますが、こちらのグループのほうをまとめさせていただきました。

〇〇グループ

まず1つ目の市役所・振興事務所の役割ということについては、大きく分けまして3つほど意見が出ました。

1つは、災害時への対応ができるようにということで、この機能強化を望むという御意見が一つあります。

それから2つ目として、これはたくさん意見が出てきたんですけれども、一言で言いますと振興事務所の強化というところになります。具体的には、振興事務所への権限を強化してほしい、与えてほしいという御意見から、振興事務所に配置される職員が少数精鋭でもいいと。要するに、能力の高い職員を配置してくれ、シンクタンク機能としての機能を確保してほしいと、こんなような意見で、要するに振興事務所を強化してほしいという御意見が2つ目としてたくさん出させていただきました。

そして、これはひとつ方法論の話になるかと思いますが、ケーブルテレビの活用、それからネット情報の強化というようなことで、情報基盤を活用した取り組みというものをもう少し強化したらどうかという御意見をいただいております。

それから2つ目として、庁舎の一本化と新庁舎に望むもの。ここでは大きく分けまして、4つほどの御意見に分かれたかと思えます。

1つ目は、耐震性を重視した形で、庁舎の一本化と新庁舎のほうを望むという御意見を一ついただいております。

それから2つ目として、この下呂市全域を考えた上での御意見ですが、一極集中をしないでほしいと、するなという御意見があります。具体的には、金山の事務所なども活用した上で、そういった配慮をしていったらどうかという御意見をいただいております。

それから3つ目として、これは具体的な御意見になるんですが、庁舎の整備に対し、具体的な、技術的なお話をいただいております。例えば、職員駐車場を建物の裏側に配置してはどうかとか、レイアウトの変更が将来可能な配置をしてはどうかというようなことで、技術的な、具体的な話をいただくことができました。

そしてもう1つは、全く違うものになりますけれども、人口減少に対する取り組みをもっと重点にすべきであるということで、ある意味庁舎の一本化、それから新庁舎のことも、こうしたことに対する、ある種不要だという御意見ではございますが、こういったものもいただきました。

それから3つ目として、新庁舎の場所を決めるための重要なポイントということで、

これはなかなか分類が難しいということもございましたので、8つほどのグループになるかと思います。

1つ目は、たくさん意見があったんですが、阿寺断層に対する御意見というのがたくさんございまして、耐震性を重視して考えなきゃいけないよという御意見をいただいております。その中では、現金山振興事務所の建物を活用する中で場所を考えたらどうかということをたくさん意見をいただきました。

それから、これは4つほど意見をいただいたんですが、具体的な場所をはっきりとしてくれと。その上でいろんなことをまた我々も考えたいんだという御意見だと思います。具体的な場所をはっきりしてくれというような御意見をいただきました。

それから、利便性を考えてくれということです。これは自動車だけの話ではありません。JRとか、公共交通機関、こういったものも含めた利便性が高いところを場所を決める際のポイントとしてくれという御意見であります。

それから、少し掘り下げてお話を聞きましたので、ここに張ってある意見としては、具体的に和佐のグラウンドがいいというような意見をいただいたんですけども、それとか温泉地とは別の場所と。これはちょっと掘り下げてお話をお聞きしますと、先ほど御紹介した意見とも似たようなことになるんですが、一極集中はしてほしくないよという意味とか、阿寺断層のことをよく考えてほしいということとか、はたまた皆さんがどんちゃん騒ぎをしているそばで役所の仕事が行われているような環境はよくないと。ぜひ環境というものをよく考えて場所を決めていったらどうかと、こういったいろんな意味を含めて御意見をいただきました。

それから、ずばり旧下呂町でいいんだという意見も出ました。

あと、少し抽象的になりますけれども、地域バランスを考えて場所を決めてくれと。あとはみんなが元気になれる場所、これも少し抽象的ではありますがけれども、こうした表現で御意見をいただいております。

大きくこの3つのテーマに対して、たくさんの意見をいただいたところでございます。こちらのグループは以上です。

ODグループ

まず1番目の市役所・振興事務所の役割というところで、ちょっと私、話がとても下手なので、マジックをあえて使わせていただいて、大まかに分けさせていただいたんですけど、機能面と内面性というところで大きく分けるとお話が出てきました。

機能に関しては、今以上の機能を充実してほしいということや、逆に今以上、質を落としていただきたくないという御意見をいただきました。振興事務所の機能で、おおよその用事が済ませられるというところを強く感じたところでございます。

もう1つは内面性のほうなんですけれども、働いている職員が、市民に対して親身な対応ができるような役割を持っていただきたい。目と目を合わせて、顔と顔を合わせて、名前を知った上での対応をしてくれるような役割を果たしてくれないかという御意見をいただきました。

あとは、迅速な対応をしてほしい、説明を丁寧に行って、用件が一度で済むように、

最初の説明でしていただきたいという御意見等もありました。

役割として、機能の面を掘り下げた場合に、ライフラインであったりとか、防災のときの緊急時の対応ということで、こちらの機能を維持してもらいたい、ここを充実していただきたいというお話がありました。

じゃあ、2つ目に移らせていただきます。

庁舎の一本化と新庁舎に望むものということで、青で囲った部分は、建物であったり、その建物に付随する件ですけれども、交通の利便性がよかったりということで、4つずつ意見は出ております。

緑で同じように囲ったのは、災害時の対応について、こちらのほうですけれども、ちょっと心配ですよという御意見がありました。もし災害時、庁舎から離れているところはちゃんと対応してもらえるんですかということで御意見も出ております。あとは、逆に庁舎を一本化するのではなくて、分散しているほうがリスクは減らせるんじゃないかという御意見がありました。

続きまして、ピンクで囲ったのは内面性というところで、建物ということではないんですが、手続や、そういうものが身近なところで手続を済ませられる考え方はできないかということで、郵便局で戸籍や税の関係をできないかという、もっとほかの考え方をしていただければ、新庁舎に一本化した場合でも市民の方は困らないのではないかと御意見がありました。

ほかには、振興事務所に勤められる職員が地域に根差した職員であってほしいということで、地域のために働いてくださる、地域のための職員を配置してほしいという充実の部分で望んでみえました。

雰囲気としては、入りやすい雰囲気、明るい庁舎であってほしいなあということを望まれてみえます。

3つ目ですが、新庁舎の場所を決めるための重要なポイントということで、やはり金山でという御意見を強く持ってみえる方も見えました。近いことが重要、萩原では遠過ぎる。

あとは、建物をつくるかどうかというときに、そういう話し合いの中に入れてもらいたいという御意見がありました。

相反しますが、機能さえ充実していれば、どこに建っておってもいいと言われた方も見えます。

こちらの真ん中なんですけれども、機能が充実していないのなら金山へ、充実しておるならどこでもいいということで、真ん中の中立の御意見もございました。

3つ目ですが、防災に関して、先ほど出ましたが、阿寺断層を避けて建ててほしいという御意見と、防災の災害被害のリスクが少ない場所ということで御意見をいただいております。

以 上

萩原地域

庁舎の一本化に関する市民ワークショップ意見発表

日 時 平成 26 年 5 月 16 日 午後 7 時 30 分～午後 9 時 30 分

出席者 23 人（4 グループ）

会 場 星雲会館天慶の間

○Aグループ

まずテーマの 1 番として、市役所・振興事務所の役割という面からです。

まず振興事務所の役割というのは、職員面からまず御意見がありまして、やはり振興事務所といえば、地域の事情に精通している職員が多いのが一番理想ではないかということで、住民のための振興事務所であれば、むしろ人数を減らすんじゃなく、もっと多くしてもよいのではないかという御意見がありました。

あと、振興事務所の仕事という面でなんですが、やはり窓口対応がほとんど主な仕事であるということで、そこが一番充実した仕事になるんじゃないかということで、新しい方法として、例えば J A へ委託する、郵便局へ委託する等をすれば、職員がそこで余剰人員が出てきて、ほかの仕事にもかかれるんじゃないかというような新しい御意見をいただきました。

それから、振興事務所の役割ということではないですが、合併特例債がやはり地域振興策に使うべきだと、庁舎一本化ではなく、地域のために振興のために使うという、これはソフト面での御意見。それと同時に、ハード面の意見として、振興事務所を新築するというような方向での使い方が理想ではないかという御意見がありました。

あと、職員ということで、職員と財政というところから関連して、職員給与も半分にして数を 2 倍にするといった対応も振興事務所では必要ではないかというような御意見がありました。

あと 2 番目ですが、庁舎の一本化と新庁舎に望むものということで、まず、そもそも一本化の必要性がわからないという御意見が A グループは多くありました。財政難になってしまうんじゃないか、住民サービスが低下するのではないか、もっともっと分庁方式というものの可能性を求めるべきじゃないかということで、そもそもこの一本化というものに対して考え直すべきではないかという御意見が多くありました。

その中の具体的なことで、住民サービスの面でプラスにはならないと、一本化しても。それから、かえって利便性が低下するというので、高齢者の方で車を使われない方は、また遠くまで行かなきゃいけないということで、本当の本当にプラスになるのかという御意見がありました。こういうことから、市民生活ということを考えたら、新庁舎を建設するのは二の次の話ではないかという御意見が多くありました。

さらに、ほかとちょっと違うんですが、一本にしてしまわなくても、例えば萩原・下呂というような中心地域は隣り合った地区同士ですので、萩原・下呂ぐらいを一つにして庁舎を建てたらどうかと、全部を一つにまとめるんじゃなく、近い大きなところを一つぐらいにしたらどうかという御意見もありました。

それから3番目ですが、新庁舎の場所を決めるための重要なポイントということで、具体的な事例として羽根の総合庁舎の利用を検討したらどうかという御意見。

それから、決めるための重要なポイントとして、車での特便性が高い広い土地、それから防災拠点となり得る土地への建設が重要なポイントではないかというようなことでした。

その他ということで、庁舎を決めるためにいろいろなことが行われていますが、そもそも新庁舎を決めるということは地域対立のもとになってしまうのではないかということから、今、こうやってワークショップをやっておりますが、うまくいって進め方を考えていかないと、下手をすると反対運動が起きてしまうんじゃないかということです。そういうことから、決定するに当たっては、市民に任せてもらえないかと、ワークショップで市民の合意をつくっていったほうがいいんじゃないかという御意見でした。そのためには、さらにそれを進めていくと、新庁舎建設の是非が最終的には住民投票で決めるというようなことも考えてもいいんじゃないかということでした。

あとは、まずそもそも一本化は今検討しておるんですが、一本化をする前にまずやることがいっぱいあるんじゃないかという御意見です。まず最初に、そもそも政策が一本化されていないんじゃないかということです。まちづくり基本条例をまずつくって、政策の一本化を図るべきではないかという御意見でした。

あとは、合併特例債を使うための新庁舎の検討になっていないかという、順序が逆じゃないかという御意見でした。そもそもそういうことが起こるのは、財政規律が緩んでいるのではないかと。下呂館の購入にしてもそうですが、そういったところから、一本化を検討する前に話し合うべきことがいっぱいあるんじゃないかという御意見でした。

OBグループ

まず1つ目の市役所・振興事務所の役割ということで、市役所自体が利用しやすいところがいいのではないかとということと、行きやすいことがまず前提にあるということで、カウンターなど今使いにくくあるんですけれども、関係、位置情報でもわかりますが、行きやすい市役所であってほしいという願いがありました。

この緑の部分ですが、地域に密着してということで、地域力向上支援の具体的な役割をもっとわかりやすくということと、地域職員の方に地域のことがよくわかる人を配置してほしいという御意見がありました。そもそものところで、分庁式のほうがやっぱりいいよという御意見が出ております。振興事務所を残して、市民に寄り添った行政サービスを行っていただきたい。あとは、差が起きないように全員にサービスが行き届くような、そういう役割を持っていただけないかということが御意見でありました。

サービスのほうは、住民サービスのスピード化ということで、窓口で1カ所で済んでいただけないかというふうであったりもしたようです。

こちらのはてなマークのついているところが、今まで合併してから10年たったんですけれども、きょうまで時間がかかった理由は一体何だったのかということで、今さらな理由をもっと詳しく教えていただきたいという質問事項も上がりました。

それでは、2つ目に行かせていただきます。

庁舎の一本化と新庁舎に望むものということで、駐車場を広くとっていただけないか、こちら絵のほうの青色で囲んだところをダブった意見なんですけれども、分庁式、一本化は望まないということで、なぜ望まないのかというと、市民の利便性等に欠けるんじゃないか、先ほどのAグループでもありましたが、庁舎建設より、まず先にやらなければならないことがあるんじゃないかという御意見がありました。地域住民のことをまず第一に考えてほしいなど、こちら分庁式のほうをお薦めしたいという御意見が出ております。

あとは、連携を強化して密にしてもらいたいということと、職員の質の向上によってそういうことが達成できるのではないかと御意見がありました。

費用の関係でいきますと、もちろん建設費用は抑えていただきたい。次世代に多大な負債が残らないようにやってもらえないかという御意見が出ております。

最後になりますが、3つ目の新庁舎の場所を決めるための重要なポイントというところで、具体的なところでいきますと、県事務所と同じ場所にしてはどうかという御意見もありましたし、萩原町内という御意見もあります。こちらのほうは、国道から入りやすい場所ということで書いてありました。

あとは、防災の拠点になる災害時対応が可能なおとこというところもあります。こちらからはなマークということで知りたいこと、今現在では決められないのではないかと御意見も伺っています。

今、Bグループの中では、一本化に賛成するという御意見もあれば、分庁式をもっと強化して、広く全体にサービスが行き渡るようにという御意見で分かれておりましたが、これぐらいのたくさんの御意見が出たところです。

〇Cグループ

まずテーマの1つ目ですが、市役所・振興事務所の役割ということで、主に3つの御意見が出ました。

まずは活性化、市民の声、災害に強い。

この活性化というのは、地域活性化としての役割というのがあるんじゃないかということで、若い人が住む、若い人が住みやすい、そういったまちづくりをしっかりと考えて、目標としてほしいといったことがありました。

次に、市民の声がちゃんと届いているのかということで、まず1つは、今の現状で不便を感じていないという意見がございましたし、振興事務所の機能低下にならないようにしてほしい、または地域からの要望がちゃんと届く、そういった市民の声がしっかり届くということの役割が重要であるといったことが上げられました。

あともう1つは、災害に強い市役所・振興事務所でなければいけない。万が一のときに備えて、市民が逃げ込めるような必要性があるのではないかと3つのくくりで御意見をいただきました。

続きまして2つ目ですが、庁舎の一本化と新庁舎に望むものということで、こちら3つのグループにくくることができました。

まず1つ目が望んでいない、2つ目は財政負担にならないこと、3つ目は完全、中途

半端ではないといった3つが望まれるものということで上がりました。

1つは、望んでいないということは今現状の分庁方式の考え方で十分です。一本化は望んでいませんといった御意見。これに近い意見なんですけれども、ある程度住民サービスが受けられることが重要ですので、一本化すると、そういったことが低下されるんじゃないのといったような御意見。

あと財政負担にならないことということで、新庁舎を建てることによって財政的に将来負担が大きくなるんじゃないのとか、将来、財政規模に見合っていないことで市民の負担が大きくなるんじゃないのということで御意見をいただきましたし、現状をしっかり把握してから始めることも大切なのではないかと御意見もありました。

あと、完全ということなんですけれども、中途半端にならないということで、一本化するならちゃんとしたものをつくってよといった意見もございました。あと、広い駐車場も必要だろうといったような御意見をいただきました。

3つ目ですが、新庁舎の場所を決めるための重要なポイントということで、主に2つに分けさせていただきました。

まずは、真ん中の萩原に。これに関連してバランス、地域特性、これで一つくくれたんじゃないかなと思うんですけれども、萩原地域というのは天も広いですし、国道も近いと、そういった交通の便もいいということで、真ん中である萩原に庁舎があるのが一番望ましいんじゃないのといったような御意見。

こちらはバランスとくらせていただいたのは、下呂市のバランスを考えて、100年先を考えた場所を選んでいただきたいと。これにちょっと関連するんですけれども、結局は、下呂市は温泉地域もあれば、そういった観光名所があります。例えば観光地に大きなビルをつくって、それが観光のよさを阻害するとか、そういったことがないように、ちゃんとした観光地は観光地、行政地域は行政地域というようなちゃんとした地域の特性を考えて配置してはどうかといった意見がございました。

あとは、ちょっと関連しますけれども、交通の便ということで広い地域に、市の中心部に建てたほうがいいのではないかと、やはり国道に近いほうが災害とかが起こっても便利がいいと、ここがございました。

ちょっとその他の意見で、職員の削減にはこだわらないことも大事なのではないかとといった意見もございました。

ODグループ

まず、テーマ1の市役所・振興事務所の役割についてということで一番最初に意見を出していただきましたが、一番多かった意見としましては、振興事務所をもっと大事にしてほしい、充実させてほしいということで、本庁よりも振興事務所のほうが住民と接する一番大事なところなので、そこをもっと充実させてほしいといったことのくくりがこちらになります。

中身としましては、振興事務所の職員をもっとふやしてほしい、今ある振興事務所をもっと有効に使ってほしい、今ある振興事務所を耐震化すればもっと使えるんじゃないかといった意見を中心にこのような意見が一番たくさん出ました。

また、こちらに1つ分けてますが、本庁というのはもっとコンパクトでいいと、部長クラスがいるだけでもいいんじゃないかというような思い切った意見も出ました。

続きまして、②の庁舎の一本化と新庁舎に望むものということでくくらせてもらいましたが、庁舎一本化というのは本当に必要でしょうか。なぜ一本化ありきなのか、反対だと。

あとは、先ほどもありましたが、今の振興事務所の耐震工事をして強化すれば使えるんじゃないかといったような御意見が一番多く出ました。

あと、新庁舎を一本化することによって遠くの地域の人、周辺を中心はいいんですが、遠くの人たちがサービスを同じように受けられなくなるんじゃないかといったような心配の声も出ておりました。

また、こちらのくくりとしましては、今ある下呂総合庁舎を間借りするとか、似たような県の関連する部署で入っているところはそこに一緒に入ったらいんじゃないかとか、そのような意見も出ました。

あと、こちらは駐車場の確保はやはり大事なのではないかと、新庁舎のポイントとして望むものとして出てきました。

この3番目の新庁舎の場所を決めるための重要なポイントというものでは、場所についてですが、この一番大きなくくりは、下呂市の中心でもあるので萩原地域がいいのではないかと。中心にあるほうが便利なんじゃないかという意見が多く、萩原がいいんじゃないかという意見が多かったです。

あと、こちらの青い丸でくくってあるところですが、とにかく安全な場所につくるのが大事なんじゃないかということで、萩原・下呂とかそういう場所にこだわったものでなく、阿寺断層の走っていない安全な場所のほうがいいんじゃないかということ。あとは、災害を受けにくい場所がいいんじゃないか。

あと、具体的なことでは、前に大雨でJR下呂駅のところの線路の下をくぐるところが冠水しましたが、あそこがあるので下呂病院の跡地はやめてほしいといったような具体的なお話もございました。

あと、金山の振興事務所、資料でもありましたが、耐震ありなので、それを増築して使えばそれで解決するのではないかというような御意見もございました。

あとは、場所とかそういったところを特定するものではございませんが、庁舎を一本化するのであれば、より利便性の高い地域というのもちろんと選んで設定してほしいですといったもの。

あと、2番目のテーマのほうにちょっと共通する部分がありましたが、一本化することによって、一つの地域につくれば、萩原・下呂というふうに限らず周辺の地域が廃れていくといった心配もあるよというような御意見もございました。

以 上

小坂地域

庁舎の一本化に関する市民ワークショップ意見発表

日 時 平成 26 年 5 月 22 日 午後 7 時 30 分～午後 9 時 20 分

出席者 12 人（2 グループ）

会 場 きこりセンター

○A グループ

A グループのほうですけれども、まず市役所というものに望むものということで、2 つ御意見がありました。IT 機能が入るということで、人員を削減できると思いますということと、あとは夜間サービスであったりとか、行きやすいところであってほしいという御意見として市役所に望んでいるという御意見でした。

あとは、機能の存続について疑問に思っていますよということで、役割も大事なんです、その前に、もし一本化になった場合に振興事務所の図書館は残してもらえるのか、児童館とか、そういう施設とか、今ある機能について、もうちょっと説明してもらいたいというお話がありました。

あとは、こちらのほうは御意見ですけれども、今まで庁舎には特に行ったことがないので、身近に感じておりませんという率直な御意見をいただきました。

ここから下なんですけれども、振興事務所のことについて御意見がたくさん出ました。小坂振興事務所は耐震化がされておらないので、まず耐震化を早くしてもらいたいという御意見が出たんですけれども、耐震化をしてもらいたいということは、建物が今後どうなってしまうのかということで、耐震を考えると壊すということになるんですが、そこで建物を壊してしまえば、地域力を高めるということを言うのに矛盾をするんじゃないかという御意見がありました。地域力を高めて地域づくりの拠点にってもらいたいと言っておるのに、耐震化によって建物が壊されてしまえば、地域力の向上にはならないのではないかという矛盾があるというお話をいただきました。

ほかに、地域力の関係ですと、地域向上支援員というのがあると聞いておるんですが、その役割、今現在どう動いているのかというところが不思議に思っているというお話がありました。

振興事務所の中で一番役割として大きかったのが、やはりサービスの充実をしてもらいたいということで、もちろんわかりやすい対応をしていただきたい、何でも気軽に相談して、応えていただきたい。あとは車の乗り入れをすぐにできて対応してくれるような、利用しやすい振興事務所であってほしい。サービスの充実をすべきだと思います。

ほかには、高齢化が進むので、ひとり暮らしの方や車を利用できない方、そういう人たちにどう関係をとっていくかというのを考えてもらいたいということで、振興事務所として、そういう高齢化に対応したサービスの充実を考えてもらいたいということを御意見で言われました。

1 番は、このような感じで、庁舎、市役所のことと振興事務所のことと疑問点が幾つかありましたということでまとめております。

2つ目ですが、庁舎の一本化と新庁舎に望むものというお話のときに、そもそも一本化にはもう反対ですよという御意見で、一本化にどうして反対なのかというと、財政面を考えてほしいということで、合併特例債といっても結局借金ではないか、人口が減少する一方なので、将来子供たちにツケを残さないほうがいい、極力小さく、お金がかからないよう、将来に負担がかからないようにしていただきたいといったような財政面のお話で反対をしてみえるということでした。

もう1つは、防災面で一本化を反対するという御意見がありました。防災に関しては、分庁方式のほうがいいのか。効率性が望めるかもしれませんが、市民にとってはメリットが小さい、防災面においても一本化しないほうがいいのかということで、反対の御意見がこれだけありました。

反対まではいきませんが、現状維持で十分だよということで、今のままで人口が減っていくので、職員数もそれだけ必要がなくなって、もっと減らせるんじゃないかということで、現在の庁舎で十分ではないかという御意見もありました。

実際に望むものをお聞きしたときには、駐車場が広いほうがいいのかということと、複合施設のように、図書館であったり、子供たちが利用しやすい場所であったり、駅に近いところやバス停という全部を考えた施設であってほしいというお話もありました。

2番の御意見として出てきたんですが、もっと周知をしてほしいという御意見がありました。住民の方へ知らせる方法であったりとか、職員が不便だと感じているということをもっと理解してもらえるように情報を提供してもらって、それで住民が考えるということがもっと必要なんじゃないかなという御意見がありました。

3つ目に移らせていただきます。新庁舎の場所を決めるための重要なポイントということで、もう実際に総合庁舎へどうですかというお話ですけれども、3つほど総合庁舎へという御意見があります。あとは具体的ではないですけれども、小坂小学校を振興事務所として利用したらどうですかというお話もありました。

ここで、今、反対御意見があったんですけれども、2番で。3番では、新庁舎をやる前にもっとほかにやるべきことがあるんじゃないですかということで、福祉をもっと一番に考えるのが一番ではないかということと、そのほかの意見になりますけれども、2番のところでもありましたが、一本化の進め方についてですけれども、現在、夜に会議を行っても、そのような時間では女性の人は出てこられませんということで、情報の周知をもっと工夫して、庁舎一本化のワークショップであったり、会議を進めなければ理解していただけませんよという御意見がありました。

OBグループ

1番のテーマ、市役所と振興事務所の役割、役割の分担としてはどうですかという話だったんですけれども、まず、本庁舎じゃなく振興事務所の役割というか、こうあってほしいというお話の中で、まず人の資質というようなところで、職員の資質の向上を望んでいる。それから、質問をした内容の中で、電話でどんどんたらい回しになるのではなく、その職員が責任を持って回答ができるような、そういった人の充実ということで、振興事務所が充実するのではないかなというような意見です。高度な業務になれば、職員

の質も高度になってほしいというところがこちらの意見であります。

それから、ちょっと2番目のほうにも入っていくんですけども、庁舎の一本化という今回のテーマなんですけれども、それよりも、その振興事務所のほうに重点を置いてほしいというような意見が多々ございました。また、2番、3番のところでも、そこについて触れていきたいと思います。

それから、もう1つなんですが、分散型ということで、これは阿寺断層が走っているという中で、庁舎はどこかに一本でつくるというよりは、リスクを分散化させたほうがよろしいということで、振興事務所についても、それぞれ五等分、大きく言えば五等分の機能をそれぞれ持っていたほうが、リスクが分散されるのではないかという意見です。

それから、一番皆さんが気にしていたのはここだと思うんですが、庁舎が一本化することによって振興事務所が小さくなり、一番気にしているのは、地域の衰退について一番懸念を示していきたいと思います。

2番目、庁舎の一本化と新庁舎に望むものというところですが、まず、お金的な面ですけども、なるべく借金をしない。そのためには、下呂総合庁舎を利用するというような形。それから、組織力の強化というふうなことで、一本化した庁舎においては、こちらのオールマイティーな職員というところにもちょっと入ってまいりますけれども、職員がしっかりと連携して、サービスも向上するというところですが、それから、プラスアルファということで、現状の、今の執行部の連携をさらに強めていただきたいというような話がありました。

3番目、新庁舎の場所を決めるための重要なポイントというところになりますが、まず防災の拠点となるエリアというところで、具体的にですけれども、国道41号線、国道から近いところで、それから道路が広いところ、危険区域ではないところというところですが、

それから便利であるところ。防災拠点となるエリアでかつ便利なところで、防災拠点となるエリアという、これはリスクの少ないところというのもあるんですが、市の中で、例えばかなり端っこのところとかになりますと防災基地等を持ってきても機能は十分発揮できないというような、そういった意味の拠点となる意味ですが、あとは、阿寺断層から離れたところというところですが、阿寺断層から離れると萩原、下呂は断層上のまちなので、ここにあっていいのかなというような疑問点が出ておりました。

それから、建設にあっては専門家をということで、どちらかというと、ちょっとこちらのほうになってくるんですけども、つくるに当たっては先ほど言ったエキスパートの方の助言がかなり必要じゃないですかというところと、それと都市計画ですね。庁舎をここにつくる、じゃあほかの住宅、人の住む安心なエリアのところ、産業としてはここというような、まちのカラーというものも考えて場所を決めるべきじゃないですかというような意見でございます。

それから、単価の安いところ。取得経費でございますけれども、土地の面積等を考えると、現在の県の庁舎が適当と思うというような意見だったり、下呂は地価の単価が高いので、取得するというような形であれば萩原地域のほうが地価は安いであろうというような意見がございました。

それと、ちょっと違った意見で、今の既存の土地から選択していくというふうなんですが、それでいいのかというような意見です。現所有地に建設するのは土地取得の経緯からいっても、ちょっと違うんじゃないかというような御意見です。

それから、最後になりますけれども、市役所の庁舎をいろいろと検討するその前に、住みやすく、市民の心が1つになるようなことが先、庁舎はその後、合併の初心を忘れずにというような御意見がございました。

以　上

馬瀬地域

庁舎の一本化に関する市民ワークショップ意見発表

日 時 平成 26 年 5 月 28 日 午後 7 時 30 分～午後 9 時 30 分

出席者 18 人（3 グループ）

会 場 馬瀬中央公民館大会議室

○Aグループ

まず、テーマ 1 番の市役所・振興事務所の役割ということですが、まず振興事務所の役割としては、やはり地域性を一番重要視していただきたいということで、とにかく地域に詳しい振興事務所であってほしい。それから、市民サービスの重要性を重んじた振興事務所であってほしいという御意見。

それから、災害時のときにやはり頼りになるのは振興事務所であるということで、災害時のときも振興事務所の対応というのは充実してほしいという意見がありました。

あと、振興事務所は現状維持のままでいいんじゃないかと、職員数を減らさなくてもいいんじゃないかと、もし減らすのであれば、市民の意見を尊重して、そういう声を酌み上げて進めていってほしいという御意見でした。

それには、やはり振興事務所にもっと権限を持たせたほうがいいんじゃないかという御意見でした。

あと、下のほうは市役所の役割ということなんですが、先ほど地域性を重視しようということなんですが、まちづくり特命ということに来ておるんですが、これをふやすと言っておるが、本当にふえるのかと、それが振興事務所の強化になっていくのかというようになちょっと疑問の声もありました。

あと、市役所に望むものとしては、各部、課をもっと見直してほしいという御意見でした。

それから、2 番目のテーマ、庁舎の一本化と新庁舎に望むものということで、上のほうがソフト面、下のほうがハード面ということで、ちょっと分けさせていただきました。

まず、ソフト面ということですが、先ほどこっちの振興事務所の役割のほうでも述べたんですが、やはり市民サービスの充実、窓口サービスの重要性が一番だと、ここをとにかく強化してほしいということ。それには、やはり市役所内の横の連携を密にすることを積極的に取り組んでいってほしいという御意見でした。

あと、ハード面ですが、利便性のいい駐車場、アクセスについても利便性のいい快適な市役所であってほしい。

それから、もしつくるのであれば、ランニングコストですね、経常経費は必要最低限でつくっていただきたいということ。それには、やはり太陽光発電等のエコな庁舎というのも考えていただきたいという御意見でした。

あと、ショッピングモールなどと一緒にあった複合施設であってもいいんじゃないかという御意見もありました。

それから、これは望むものとはちょっと違うんですが、庁舎建設がもし始まるとほか

の事業にも多少影響があるんじゃないかと、ほかの事業が手薄になってしまって庁舎ばかり目が向くんじゃないかということで、そういうことにならないように、ほかの工事にも目を向けてほしいという御意見がありました。

あと、3番目のテーマで新庁舎の場所を決めるための重要なポイントということで、まず既設の施設の利用ということがありました。既設の施設ということで、まず県の総合庁舎と星雲会館、どちらかを利用すればいいんじゃないかという御意見。

あとは、今の資料の中には建設費用が載っておるんですけど、用地代がないということで、用地代はとにかく安く仕上げてほしいということ、それから用地代の資料もこういう説明には必要ではないかという御意見がありました。

さらに、土地に関係してですが、果たして6,000平米という場所が本当に市内にあるのかというちょっと心配する声もありました。

あとは、建設する場所ですが、やはり中心地、それから各地域が恩恵を受けるような場所であってほしいという意見がありました。

最後に、これはテーマとちょっと違うんですが、現在検討委員会のほうで協議を進めてみえるんですが、進行状況がもっと市民に知れるといいなと。どんな人がどんなことをやっておって、どの程度協議が進んでおるといふのをもっと知れるようなことになればいいなという御意見でした。

あと最後に、一本化について、特に萩原、下呂の方々は納得して本当に進んでいけるのかなあという心配する御意見もございました。

OBグループ

まず1つ目のテーマ、市役所・振興事務所の役割についての御意見です。

まずは、振興事務所に望むものとしましては、市民課機能は少なくとも残してほしいという意見もありますが、基本的にはやはり本庁は業者が行くところであって、市民のよりどころはやはり振興事務所なので、振興事務所に身近な窓口を設けてほしい。どちらかというと総合窓口を設けてほしいというような意見がありました。

今度は本庁も含めての話になりますけれども、休日に利用できる窓口を設けてほしい。あるいは、コールセンター機能を設けることによって、窓口の振り分けをするような機能があったらいいというような話がありました。

そして、今度は機能という役割というよりか名称については、支所でいいというような意見もありました。

若干、この市役所・振興事務所の役割と離れたところのその他の意見ということでありますけれども、1つ目が振興事務所の機能については、もう少ししっかりと、今こういう機能があって、今後こういうふうになっていくんだというところの説明をもう一度しっかりとすべきではないかというような意見。

それから、振興事務所あるいは市役所の役割はもちろんだけれども、地域の組織自体の見直しもしていく必要があるというような意見がありました。

そして、災害対策の対応といたしまして、しっかりとそこら辺ができるのか、対策本部とかの設置について本庁舎なのか、あるいは振興事務所になるのかといった災害対策

の対応について懸念する声がありました。

簡単ですが、以上が1つ目のテーマになります。

2つ目のテーマ、庁舎の一本化と新庁舎に望むものについての意見ですが、まず1つ目がこちらの機能面だけまず先に話をさせていただきますが、機能面といたしましては、訪れたときにわかりやすいフロア配置という意見が出ています。フロアごとに自分の業務がどこへ行ったら簡潔というか、利用できるのか、わかるのかというような、フロアごとに利用できるような配置が望ましい。

そして、より具体的な機能になりますと、バリアフリー、あるいはソーラー発電がついた電気代の削減ができるような施設。

そして、防災対策についても機能を望むものがありました。やはりこういう阿寺断層、地震が想定される地域において、本庁へ行くことすらできないかもしれないとなると、防災ヘリとかがとまれるような機能も必要ではないかということがありました。

これまでが、割と市民が求めるような機能でありましたけれども、同じ機能として職員の環境面ということで触れられている意見もあります。

とある施設では、職員が密集して仕事をしている。ともすれば、隣で電話しているのも聞こえるような環境の中でというところが仕事環境としてはよくないのではないかと、というところで、職員の密集しないような環境が必要ではないかというような意見が出ています。

そして、今度はちょっと費用面ということでまとめましたけれども、まずは、やはり建設費用を抑えるということ。そして、今度は建設費用ではありません。経常、維持経費、ランニングコストの話になりますけれども、職員の削減が図れるような施設によって、反対に職員の人件費がかからないといった庁舎のつくりが必要ではないか。一本化によって職員の削減もちょっと進めることで、費用の削減を図るというような意見が出ています。

そして、望むものという意見とはまた別のその他の意見ということで紹介しますが、まずは、庁舎が新しくなったからといって、職員、そして市民の閉塞感が打開されるものではないだろうと。もう少し職員と市民のそれぞれ意識改革を進めていくことが、まずは必要であるというような意見。

そして、これまで10年間分庁方式でやってきた中で、なおかつ人口が減るという中で庁舎の一本化がいいのかというような意見も出ております。

そして、最後になりますけれども、3つ目の庁舎の場所を決めるためのポイントということです。

これもよくある意見でありますけれども、1つがまず距離。金山から小坂、北から南までの60キロ、1時間ぐらいある移動の中で、やはり中心が望ましいという意見。

そして、これから人口が少なくなっていく、高齢者がふえていく中では、高齢者の訪れやすい、例えばJR、バスといった公共交通機関が利用できる利便性の高い場所という意見が出ています。

あとは、ちょっと具体的になってきますけど、孤立しない場所、あるいは昔から行きなれている場所といった場所がいいのではないかというような意見。

最後には、やはり具体的な場所の特定というか意見も出ています。

具体的には、郡上市が建設とか農林部が県の総合庁舎に入っている利用例があるように、下呂の総合庁舎の利用をしたらどうかといったものの検討も必要ではないかというような意見が、具体的な場所として出ておりました。

〇〇グループ

まずテーマ1の、市役所・振興事務所の役割ということですが、市役所に関する意見をちょっと真ん中に置きまして、それ以外の振興事務所の、実際この馬瀬の振興事務所ということをつまえて出ました意見を周りにちょっと配させていただきました。

本課の市役所としては中心の役割ということで、情報を伝える役割としていただきたいと。

それから、それに対して振興事務所の役割ということで、こういう面を強くしてもらいたいという意見と、逆にこれでいいのかという意見がありました。

まず、これでいいのかというほうの意見からちょっと具体的に申し上げていきますと、振興事務所に対して削減でいいのか、それから地域に根差した行政はしないのかというふうなところです。

今の振興事務所の役割というところで人員削減というところがありましたが、そこに対して、人員を削減したことで地域をカバーできるのかというところの不安がありますというところです。

それから、人を減らすという、要はリストラというところでしょうか、そういったところ以外での経費の削減策は思いつかないのかという疑問があるところです。

逆に、下呂市の収入をふやす事業はあわせて考えていけないのかという御意見がございました。

実際、馬瀬の振興事務所には何名ぐらいの職員を配置してもらえるのかという不安もあるところです。

それから、今度その振興事務所の人以外の質の面の要望、それから役割ということがありました。

窓口業務の担当がころころかわらずに気軽に相談に来られる。それから、市役所の適材適所で相談しやすい方を配置していただきたい。オールマイティーな方、それからそういったものを総合しまして何年かに、毎年とか人事異動が行われないような根差した方という要望です。

それから、今本課のほうは情報を伝えるという話なんですけれども、地域の情報を本課のほうに伝える中で、地域の窓口ということもしっかり重きを置いていただきたいというところです。そのほうが、地域の本当の地域づくりというのが行われるのじゃないですかという意見でした。

それから今度、防災・安全という面で、振興事務所のほうにもしっかり消防の担当を置いていただけるのかという面。

それから、地域の特性を生かすとありますけれども、今まちづくり特命ということと地域力向上支援員という方が今年度からということですが、その方々のお役割ということ

ころでの不安がありますが、振興事務所というものに対して、例えば馬瀬という振興事務所があつて、ほかの地域もありますけれども、本課に対しての振興事務所という1対1という関係ではなくて、振興事務所の中でもそれぞれの特性があつていいんじゃないかというところで、そういったところをよく考えていただきたいという意見がありました。

2番ですが、庁舎の一本化と新庁舎に望むもの。

こちらの下の部分については、スリム化、負担をかけない、それから交通の手段、高齢化に対応したものといった利便性、スリム化というところでは、財政的な面の要望があります。

それから、これは職員の気質の面であります、市民目線に対応してくれる職員ということがあります。

それから、そういった新庁舎に望むものという意見と、今度ここから上は反対なんですけれども、新庁舎が必要なのかというところで、アンケートをとったら年に1回から5回しか利用しないというところで、必要ですかというところ。

それから、決定するまでの今までのプロセスの中でちょっと疑問が残るというところ、です。住民にもっと決定するまでに聞く必要があるのではというようなところです。

それから、将来的なところで子供に胸を張って説明できるものをという要望があります。

3番目、新庁舎の場所を決めるための重要なポイントということですが、美しい地域はどうでしょうかという意見がありますし、それから人の集まりやすい地域、交通の利便性というところ、です。Aグループさん、Bグループさんにもありましたけれども、同様です。

それから、用地取得、既存の施設というところで、コストの面でのポイントも大事だというところ。

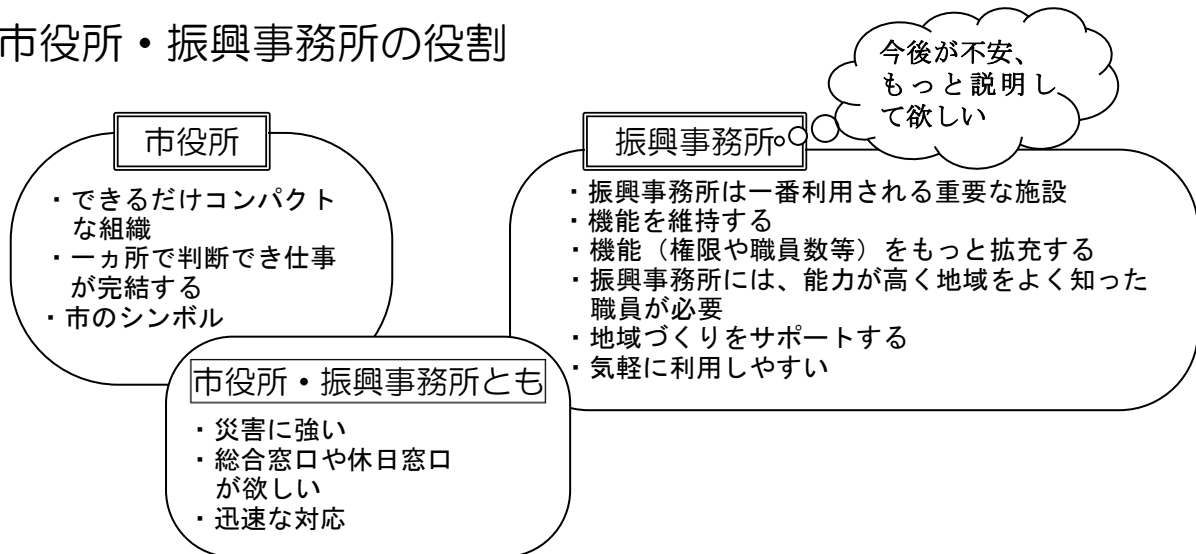
それから、防災機能拠点という意見がありますので、断層から外れた場所というような御意見がございました。

以 上

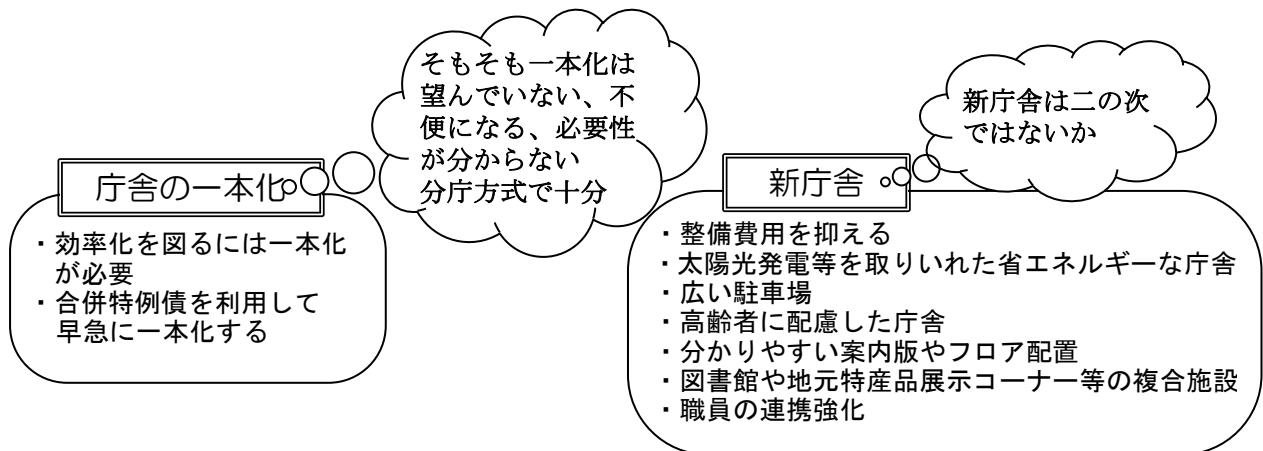
市民ワークショップの意見について（まとめ）

◎市民アンケート調査や市民説明会で寄せられた意見を基に、下記①から③のテーマを設定し、ワークショップ形式（参加型の話し合いと意見発表）で多くの意見をいただきました。多く寄せられた意見を下記のとおりまとめました。

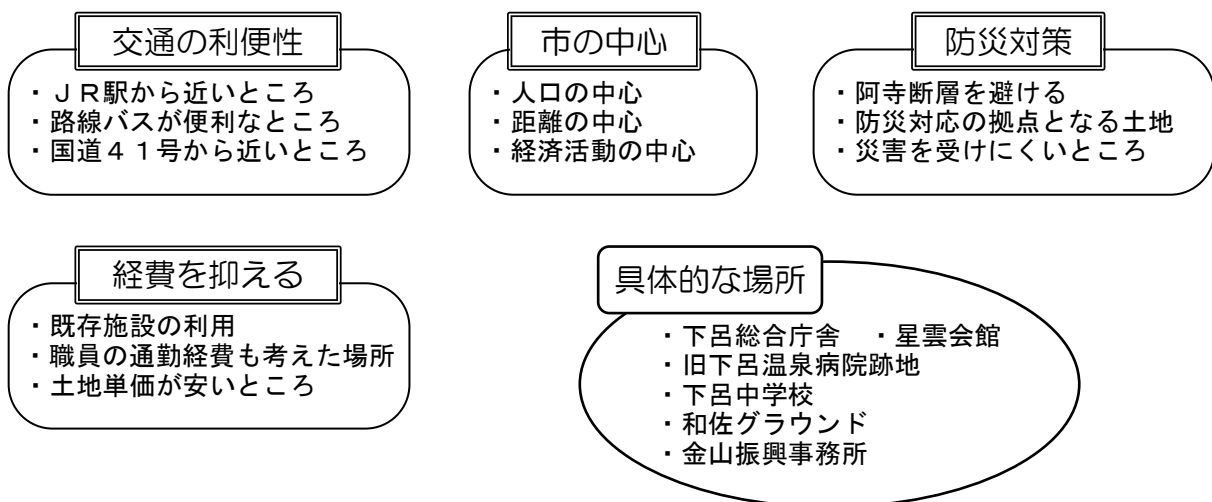
①市役所・振興事務所の役割



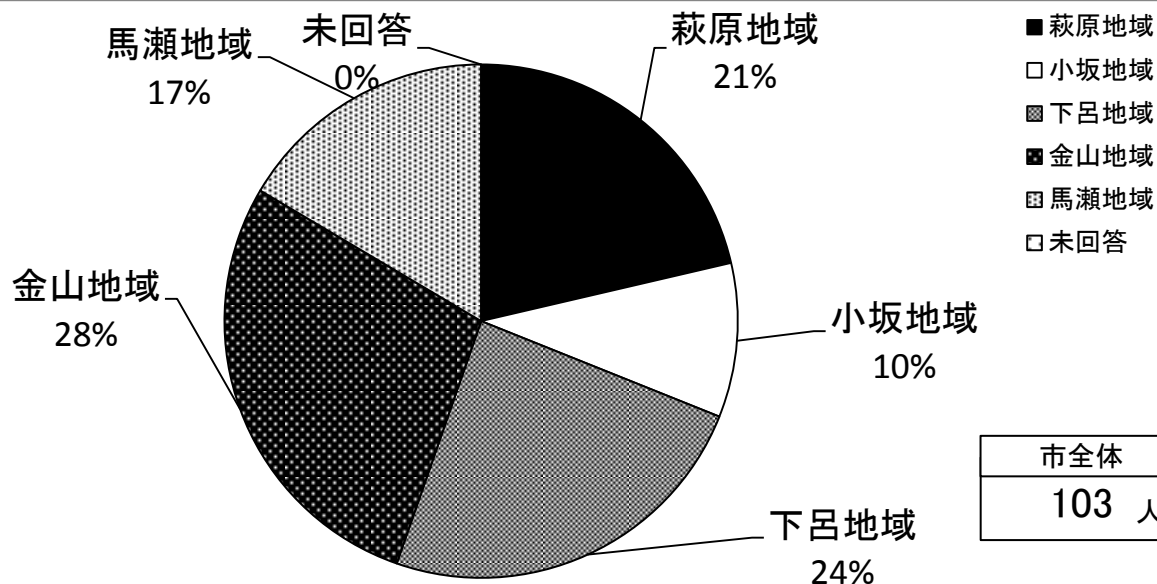
②庁舎の一本化と新庁舎に望むもの



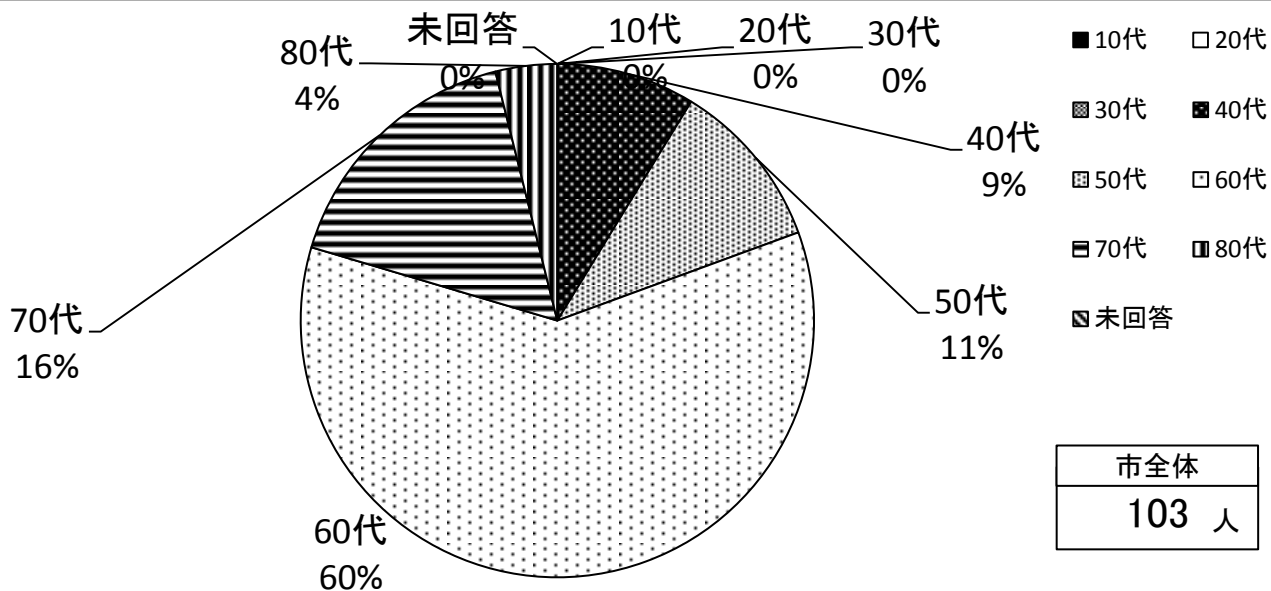
③新庁舎の場所を決めるための重要なポイント



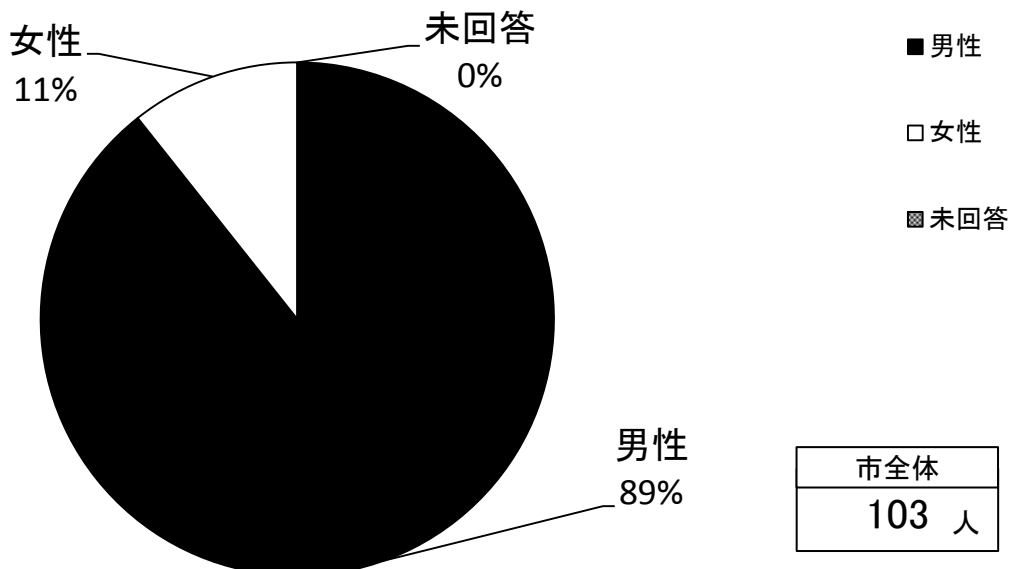
問1 あなたの住まいは？



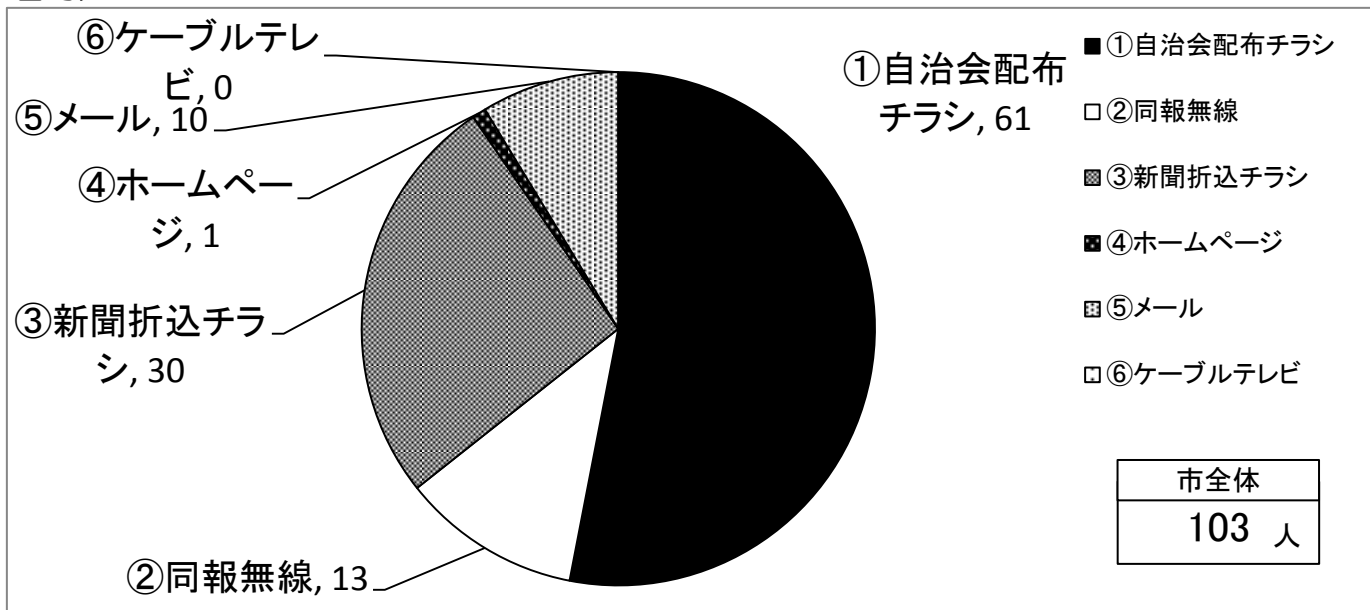
問2 あなたの年齢は？



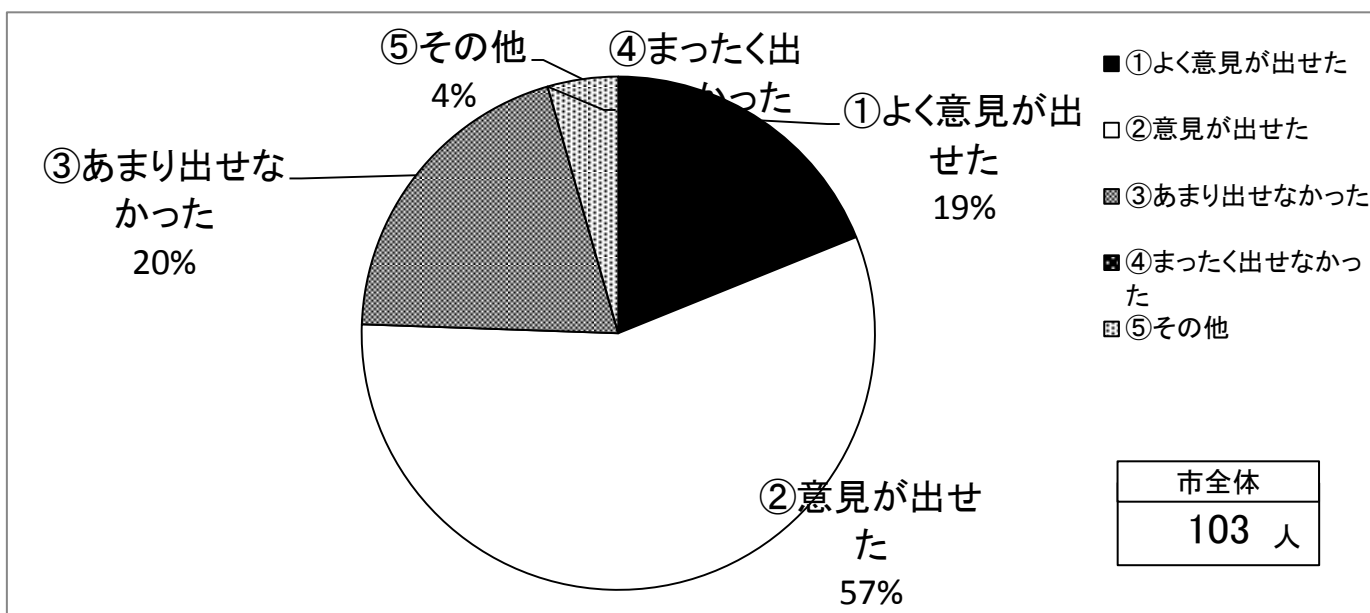
問3 あなたの性別は？



問4. 本日の「庁舎の一本化に関するワークショップ」をどのように知りましたか？（複数回答可）



問5 「庁舎の一本化に関する市民ワークショップ」に参加して、ご自分の意見をよく出せましたか？

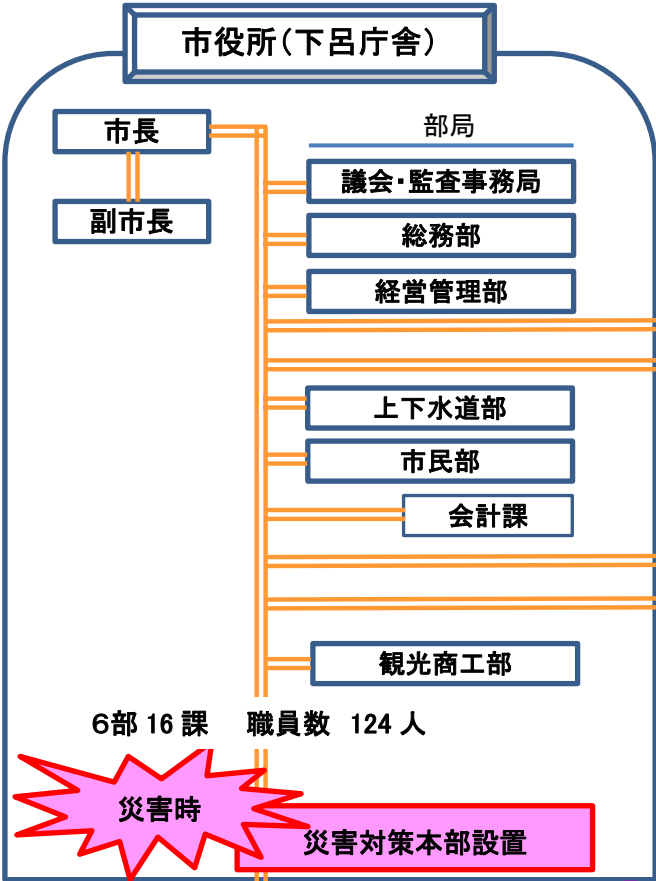


問5 「庁舎の一本化に関する市民ワークショップ」に参加して、ご自分の意見をよく出せましたか？	
No.	自由記入
1	時間が短かった
2	言いたい事を書くという事がむづかしいです。
3	最初から一本化ありきを前提にしている。現行の耐震化を
4	ワークショップとは名ばかりの会議であった

問6. 自由記入	
No.	自由記入
1	参加者が少ない(特に若い人がいない)もう少し参加しやすい方法はないものか?(女性だけとか20代、30代だけとか)もう少し時間があればと思う。
2	本日参加させていただき、本当によかったと思っています。今後も会議を続けてほしい。
3	人件費は振興事務所を減らすことでいくら節約できるが、市債はこれ以上増加しては払いきれない。税収は今後減っていく。
4	とても有意義でした。
5	このような場に初めて参加してとまどいましたが、時間がたつにしたがってだんだん理解ができるようになった。拙い意見しか出せないが楽しく参加できました。時間がもう少しあるとよい。
6	新庁舎はバリアフリー市民が気軽に集まって小さな催事もできるような開かれた市役所を望みます。このような場所に初めて出席しましたが、下呂市の今後に大いに関心を持つことができ、一緒に話し合いが出来て良かったです。
7	私が思うには何事も中心ということ。独楽も中心が良いからよく回ります。
8	思わぬ意見も出て良かったのでは?グループ編成(年齢の分散)に問題あり。男女を混ぜては?
9	300人の職員を250人に削減するということだが、コスト削減に職員削減は必要だがそれだけが財政の改善につながるわけではないのではないか?
10	位置、下呂は金山～小坂の中心になると思うので、病院の跡地がよいと思う。老人が多くなると思うので駅から近い方がよいと思う。
11	ワークショップの集いの声掛けが少ないように思います。夜の都合の良い方と悪い方がみえると思いますので、夜・昼行ったらよりより多数に出席いただけたと思いました。
12	庁舎の一本化を現実に行われるか。(改築、新築にかかわらず)。30代40代の方々の考えも聞く様な場を作っていただきたい。
13	今日の出席者の少なさにはビックリしました。もっと若い人たちに(これからの人たち)もっともっと出席して意見がほしいです。これからこのような説明会を開いてほしいです。
14	10年、20年、30年後を見込んで一本化を望む。
15	未だ数回に開き、公約数的な結果を希望する。
16	下呂市の交通アクセスが悪い。今、金山大原工事中ですが、リニア、約10年後に開通しますが、中津川～下呂～郡上まで悪くても下呂まで交通の便がよくなるようにお願いします。
17	いろいろな人のいろいろな考えが聞けて良かったです。活発な意見交換ができましたが、どこに建てるか難しい問題だろうという結論でした。
18	今後の意見をオープンにして
19	下呂地区には、地震に関係する阿寺断層があり、特に危険でもあるため庁舎の建設は不適であると思料します。いくら耐震構造で作っても、この問題は解決することはできないと思います。これを考慮すると南の金山地区での建設が望ましいと思います。
20	地域密着、住民密着が大切で、一本化よりも振興事務所の充実が重要である。人的にも機械的にも振興事務所に対して手厚い対応を望む
21	金山～小坂間、約1時間かかるが、新庁舎建設に並行してライフラインの国道41号線を直線化して、移動時間を短くなるよう考えてほしい。災害時にもよい。
22	良い庁舎を
23	・一本化するに当たり現在の建物の増築で対応した方がベストであると思います。 ・現在の振興事務所の機能を減らさず、住民サービスの低下にならないようにしてほしい。
24	人口が減少していくので、できるだけ費用をかけないようにする。
25	意見を出し合う機会があったのは良いと思いますが、これでまとまるのかな
26	今後、少子・高齢化の中で少しでも負となる借金を残さないよう、現在使える建物を使用し不足分を新築してはどうか。庁舎の一本化より振興事務所の権限を拡大し、サービス向上を図る。
27	建物に特化しているが庁舎を一本化すると同時に生産性・向上するSystemの中での建物でなければならない。庁舎だけを一本化しても仕事のやり方、組織としての姿を含めて考えないと本課の職員数60名の削減はできないと考える。
28	大変良いワークショップでした
29	金山地域は振興事務所が絶対に必要です。下呂、萩原、小坂、馬瀬は一か所でよいと思う。
30	今後の高齢化に伴い一本化については、経費の減額及び今の若者の意見を聞くことも大切である。
31	人件費の削減、住民税の削減等にも力をいれる
32	庁舎一本化の必要性がわからない。一本化により住民サービス、利便性の低下は明らか。借金をして一本化するというのは市長の公約とのことだが、問題点は明らかなので一本化にこだわらず分庁方式の可能性を追求してほしい。
33	一本化も大事かもしれないがその前に考えなければ
34	認識不足を感じました。もっと、市の行政に関心をもっていきたいです。参加して良かったです。地域の方が下呂市に住んで良かったといえる町づくりを!!
35	地域間格差の解消と市民生活のレベルアップのためにも分庁方式の充実を。幸せと実感できる建物で味わえる施策を望みます。
36	参加者の事前の勉強不足が目立った。

問6. 自由記入	
No.	自由記入
37	資料5～6ページは市の必要性を述べたものであり、本日のワークショップの題材としてはなじまない。庁舎の一本化ありきの検討会ではなく、住民本位のサービス重視の庁舎のあり方を考えるべきである。
38	貴重な意見の数々を尊重してほしい。
39	市役所に来る用事がないので今の段階ではあまり意見はありません。
40	少ない参加者のため疑問に思う。
41	庁舎は一本化しなくてよい。下呂総合庁舎を利用すべきではないか。
42	一本化ありきの会で、住民の意見を聞きました、チャンチャンとなりそうで不満です。参加者が少なすぎると思いました。こんな少人数の意見を聞いただけで決めてしまうのはどうかと思います。
43	意見は出したが、それが反映されるとは思えない。このワークショップが市民に意見を聞きましたというたてまえとならないよう、本当に市民の立場に立って進めて欲しいです。
44	庁舎一本化計画も大切ですが、市民の目標として地域の活性化、地域の経済活性化を考え、若い人達の流出を止める、住んで良かった、住んでみたい市をつくってほしい。
45	庁舎の一本化が地域の活性化と同調する。
46	一本化に関する会合に何回も出させてもらいました。我々の時間、その他が無駄にならないよう、よく御検討をお願いします。
47	初めて参加して皆様がどのように感じているか聞きたくて来ました。
48	財政面を考えるとなぜ下呂総合庁舎ではじめからだめなのか。疑問に思う。庁舎の一本化はまだ決まっていけないのにいきなりこの3つのテーマでワークショップ拙速すぎる。地方の振興事務所は地域力を高めるためには必要です。小坂の中心をこれ以上過疎にしないでほしい。
49	高齢化率が進む一方の下呂市にあって税収は望めない。若い世代につけを残すようなことはやめましょう。先人たちが残してくれた財産、精神を私たちの世代で壊してしまっはいけない。慎重に考えて進めたほうがいいと思う。
50	初めて参加させていただきました。今日は何もわからないためほぼ聞く側になりましたが疑問が少し整理されました。何も知らにより知っていた方がいいと思って参加してみて自分の理解できる範囲で意見してみました。
51	合併して10年、下呂・萩原の問題が少し落ち着いてきたのにまた庁舎の場所でまたごたごたがおこるのが心配です。
52	色々な意見を聞くことができ有意義であった。
53	馬瀬に引っ越して3年弱で地域のことを勉強中につきわからないことばかりであり意見が出せなかったが本日の参加により大変勉強になりました。
54	庁舎の一本化する事には結構ですが振興事務所の機能が低下することは間違いない事なので市民にとって不利益にならないような組織、運営等をしっかりしてほしい。
55	女性が少ない。区長さんや消防幹部など役つきの人がほとんどなのが残念。若い人は関心がないのが実情。
56	大きな建物ではなく、小さい建物も検討してみても良いのではないかな？
57	庁舎一本化ありきの会では人が集まらないと思います。本当に6000㎡必要なのでしょうか？
58	庁舎一本化に向けての説明を初めて聞いた為、もう少し考える時間がほしかった。市民にどれくらい一本化の話がされているのか知らない市民の方が多いのではないのか。合併特例債の期限が迫ってる為、無理に推し進めている感じも受ける。
59	庁舎の一本化がすでに決まっているような雰囲気になっている。
60	一本化ありきのワークショップであるが一本化に向けてもう少し時間をもって決定していった方が良いのでは。行政主導丸出しだが住民主導的な方向に進める方法が良策と思うが困難か。町村合併しなかった長野県の2村を視察しました。住民にあって将来の不安がなくて結集し、何年もスムーズに今日までやってこれた。国の交付金も少なくならなかった。(担当者弁)視察した中川村では人口増となっていること。もう少し住民に危機感を与えることも必要では。一本化にあって合併特例債の活用が全面的に出ている感じがします。もう少し本当の必要性を説明していくことが主要と思います。
61	実際にどれ位もとはっきりした金額なのか もっとかかるはずですが税金の負担が心配です。
62	検討委員会はすでに6回開催されたようですが、意見等進捗が公表されると良いと思います。
63	下呂町と萩原町が庁舎の位置が最良と考えます。萩原町・西上田(釜ヶ野)下段の農地及びミニゴルフ場の箇所が最適と思います。
64	検討委員会での協議を広く市民に説明してほしい。
65	財政面で不安に思う。
65	庁舎整備費用の土地代を含んだうえでの金額を示してほしい。また、少しでも整備費用を抑えるために備品と高級品は控えるなど考慮してほしい。

平成 25 年度の行政組織体系

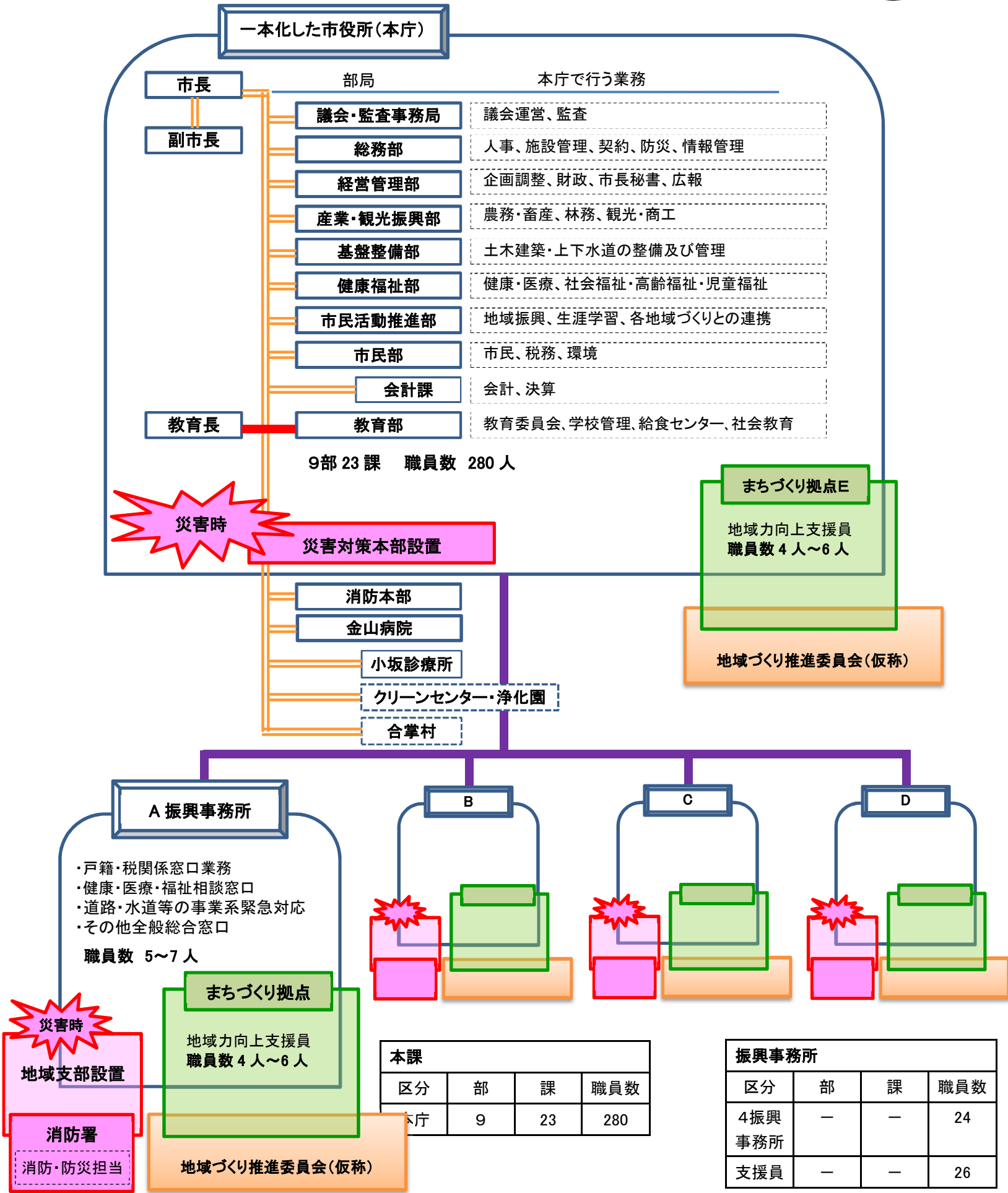


振興事務所			
区分	部	課	職員数
5振興事務所	5	5	73

※職員数については、庁舎における勤務者数としており、嘱託・臨時職員、外部委託員を含んでいます。

平成 31 年度の行政組織体系

案



※職員数については、庁舎における勤務者数としており、嘱託・臨時職員、外部委託員を含んでいます。

県立下呂温泉病院跡地利用検討の経緯

	県立下呂温泉病院跡地利用検討プロジェクト会議 (職員による横断的な検討プロジェクト)	県立下呂温泉病院跡地利用検討委員会 (各種団体の代表による跡地利用における整備方針等の検討)
開催数	H22.10.4～25.2.5 (計 15 回開催)	H23.5.13～25.2.18 (計 6 回開催)
主な協議内容等	1. <u>リハビリ棟の再利用の検討</u> ① 耐震診断結果 ② 再利用した場合の概算経費 ③ 将来に向けた検討 2. <u>跡地利用における方針の検討</u> ① 市は設置主体とならないこと ② 民間の資金や事業を導入した 利用計画の推進が有効であること 協議・検討 市の方針 ・ 現施設の再利用はせず更地による購入とする。 ・ 新たな施設整備に市は大きな投資はしない。 跡地利用に向けた「市民アイデア」「事業者提案」募集 地元幸田区からの要望 4件 「市民アイデア」19件、「事業者提案」4件 ⇒ 事業者提案は全て辞退 県立下呂温泉病院跡地利用検討委員会中間報告書 (H25. 3. 18 市長へ) (内容) ① 現時点で保有する市民アイデア19件と地元幸田地区からの要望4件の可能性を具体的に検討する必要がある。 ② 大きな面積を有する市有地が、この下呂温泉の中心部に数か所出来ることとなり、単に下呂温泉病院跡地のみの利用計画ではなく、当該地域全体として総合的且つ連携ある利用計画づくりが必要である。	

市有地有効活用研究会

公募による各種団体の代表・個人の方々から、広く
ご意見を伺い今後の計画づくりに反映させる。

H25. 9. 25～26. 3. 10 (計 5 回開催)

<研究会の目的>
県立下呂温泉病院が移転することに伴い、同跡地の活用方法について検討を行う中で、近隣の空いている市有地も含め、市全体の産業振興や活性化を見据えて総合的な利用方法を考えること。

- ① 下呂市全体の産業振興や活性化における市有地の役割について
- ② 大きな市有地である旧ホテル下呂館跡地及び購入予定である県立下呂温泉病院跡地の有効利用に向けた考え方と具体的な活用方法の提案

提案の詳細は別紙のとおり

1. 中心部跡地の有効利用に向けた「考え方」と「具体的な活用」について

●中心部の活用コンセプト

「跡地」から「下呂市全体」を活性化！
～市民みんなでオール下呂のまちづくり構想～

中心部だからこそ、波及効果があり周辺にも喜んでもらえるような逆転の発想ができないか？
この跡地活用をきっかけに、「下呂市がひとつ」になって、各地域の個性や強みを活かし合える、
そんな市全体の活性化につながるまちづくり構想を提案する。

●基本方針と具体的な活用案



2. 下呂市全体の産業振興や活性化における「市有地の役割」について

- (1) 下呂市全体に資する活用を！**
- ・下呂市全体の市民の心がまとまるような活用＝「市全体の活性化」につなげる
 - ・「市民参加」で計画推進。検討プロセスをみえる化(みんなに公開、みんなが参加し、みんなで使う→みんなが共感→みんなが発展)
 - ・複数の場所を「一体的」「複合的」に考える→市内各地の観光資源をつなぎ、周遊させる(例:「飛騨街道」「まち歩き」等)
- (2) 将来を見据え、持続可能な活用を！**
- ・下呂市を取り巻く環境や数十年先まで見据え、そのために「何が必要か」を考える
 - ・林業、観光、医療・福祉、教育など「産業」と結びつく活用→収益を生む→持続可能、維持できることが重要(例:宿泊客の誘致等)
 - ・「外部資本」を活用した活性化＝税収のアップ、雇用の場の創出
 - ・観光や来街の促進のみならず、住んでいる人の暮らしやすさや「まちづくり」の視点を含めた活用
- (3) 暫定利用など無駄のないスピーディな活用を！**
- ・長期利用が決まるまでは、暫定的にでも活用を図る→(土地や施設を)塩漬けにしないよう、スピーディに決めて展開を図る
 - ・大きな箱モノや過大な投資が前提ではなく、「できること」から「段階的整備」を→既存施設の活用も視野に入れて、無駄のない活用
 - ・ハード整備だけでなく、ソフトの充実や人材育成も両輪で→例えば、市全域に歴史や観光の案内ができる「情報人」を配置する等

下呂総合庁舎の概要

○住 所： 下呂市萩原町羽根 2605-1 電話番号： 0576-52-3111

○建設年度： 昭和49年（平成25年度耐震補強工事实施）

○構造等： 1) 下呂総合庁舎（本館） 本館棟 RC 5 F } 計4, 233 m²
 ペントハウス RC 2 F }
 （別棟） 試験・機械棟 HR 1 F
 2) 水産研究所（事務棟） RC 2 F

○施設：

1) 農政部 水産研究所・下呂支所
・管理調整担当、試験研究担当

2) 健康福祉部 飛騨保健所・下呂センター（本館2階）
・総務課 管理調整・医事係
・生活衛生課 薬事・衛生指導係、試験検査係
・健康増進課 感染症対策係、保健予防係、健康づくり係、
保健指導係

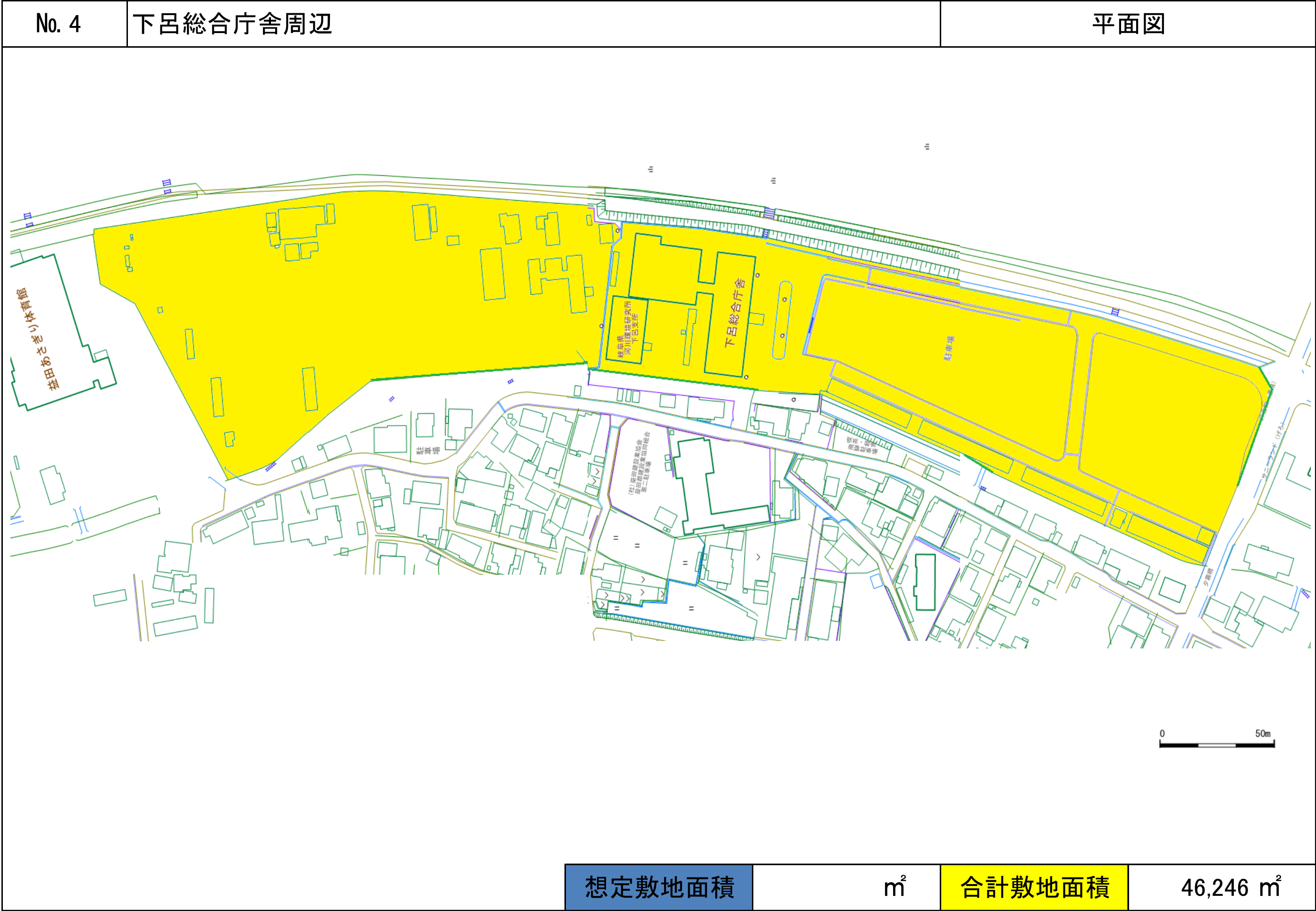
※組織については飛騨保健所のものです

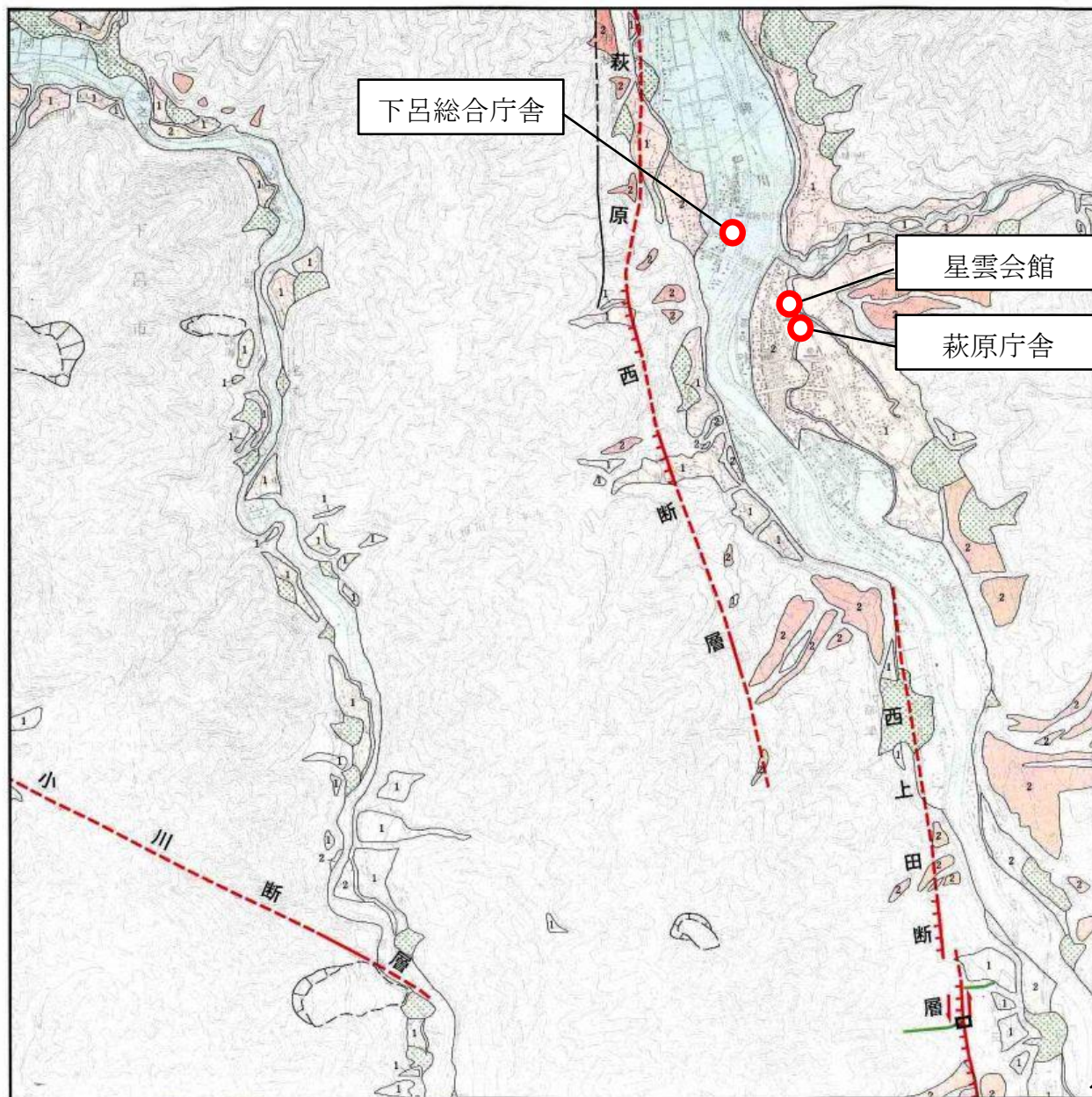
3) 農政部 下呂農林事務所（本館4階）
・総務課 管理調整係
・農業振興課 農務・畜産係
・農業普及課 普及指導係
・農地整備課 計画調整係、農地整備係
・林業課 林務係、治山係

4) 県土整備部 下呂土木事務所（本館3階）
・総務課 管理調整係・施設管理係
・用地課 用地係
・道路建設課 道路建設係
・道路維持課 道路維持係
・河川砂防課 河川砂防係
・濃飛横断自動車道建設課 建設係

5) 飛騨振興局下呂市駐在（本館2階）

※この資料は公開されている情報により作成したものです。





1:25,000 都市圏活断層図
Active Fault Map in Urban Area

阿寺断層とその周辺
Atera Fault and its vicinity

萩原
HAGIWARA

活断層調査：池田安隆^{*1} 熊原康博^{*2} 廣内大助^{*3}
中田 高^{*4} 岡田篤正^{*5}

^{*1} 東京大学、^{*2} 広島大学、^{*3} 愛知工業大学、^{*4} 広島工業大学、^{*5} 京都大学

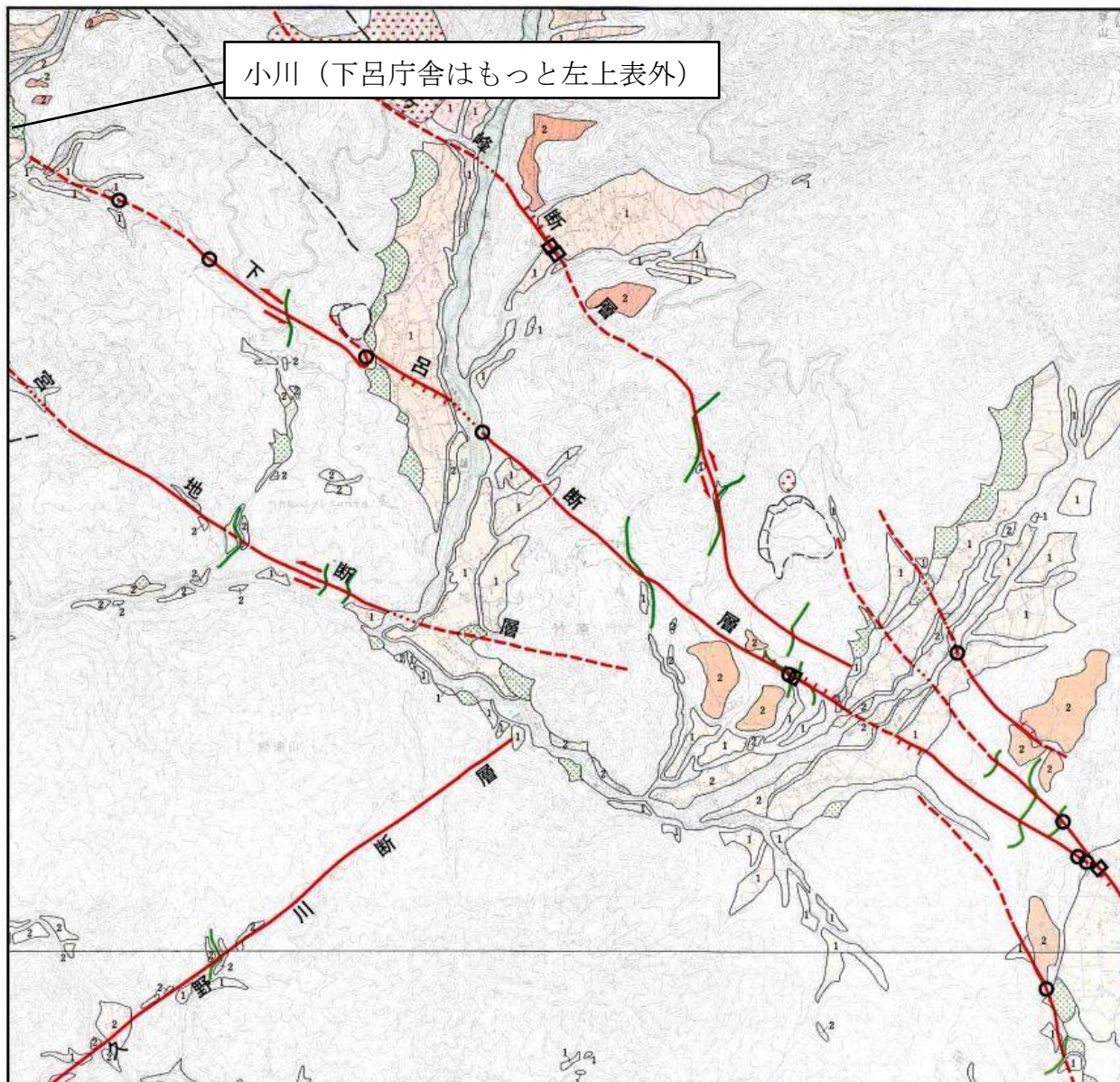
記号 Legend

活断層 Active Fault	——	最近数十万年間に、概ね千年から数万年の周期で繰り返し動いた地塊が地形に現れ、今後も活動を繰り返すと考えられる断層。明確な地形的証拠から位置が特定できるもの。
活断層(位置やや不明確) Active Fault (site indistinct)	- - - -	活断層のうち、活動の痕跡が侵食や人工的な変形等によって改変されているために、その位置が明確には特定できないもの。
活断層(活断曲) Active Flexure		活断層のうち、変位が軟らかい地層内で散発し、地表には跡を残さずともみとして現れたもの。たわみの範囲及び傾斜方向を示す。
活断層(伏在部) Active Fault Trace (concealed)		活断層のうち、最新の活動期以後の地層で覆われ、変位を示す地形が露出していない部分。
横ずれ Strike Slip	——>	活断層の相対的な水平方向の変位の向きを矢印で示す。
縦ずれ Dip Slip	——	活断層の上下方向の変位の向き。相対的に低下している側に短線を付す。
トレンチ調査地点 Trench Survey Site	□	活断層の通過地点に調査溝(トレンチ)を掘り、断層運動の解明調査を行った地点。(これまでに各種調査研究等によって調査が実施されたもの)
活断層露頭 Active Fault Exposure	○	最近数十万年間に堆積した砂礫層などを切断し、活断層であることが確実に判明した露頭。現在は露出がなくなると記載。
活断層の名称 Name of Active Fault	野島断層(例)	活断層の固有名称。
推定活断層(地表) Presumed Active Fault	——	地形的な特徴により、活断層の存在が推定されるが、現時点では、活動年代が明確に特定できないもの。
推定活断層(地表) (やや不明確) Presumed Active Fault (indistinct)	- - - -	地形的な特徴により、活断層の存在が推定されるが、現時点では明確に特定できないもの。または、今後も活動を繰り返すかどうか不明なもの。

東上田(下呂庁舎はもっと右下表)

1:25,000 萩原
500 0 500 1,000 1,500m

平成17年調査・編集
平成18年11月発行
著作権所有 国土地理院
資料調製 国土地理院
発行 国土地理院



1:25,000 都市圏活断層図
Active Fault Map in Urban Area

阿寺断層とその周辺
Atera Fault and its vicinity

下呂
GERO

活断層調査：中田 高^{*1} 岡田篤正^{*2} 池田安隆^{*3}
廣内大助^{*4} 越後智雄^{*5}

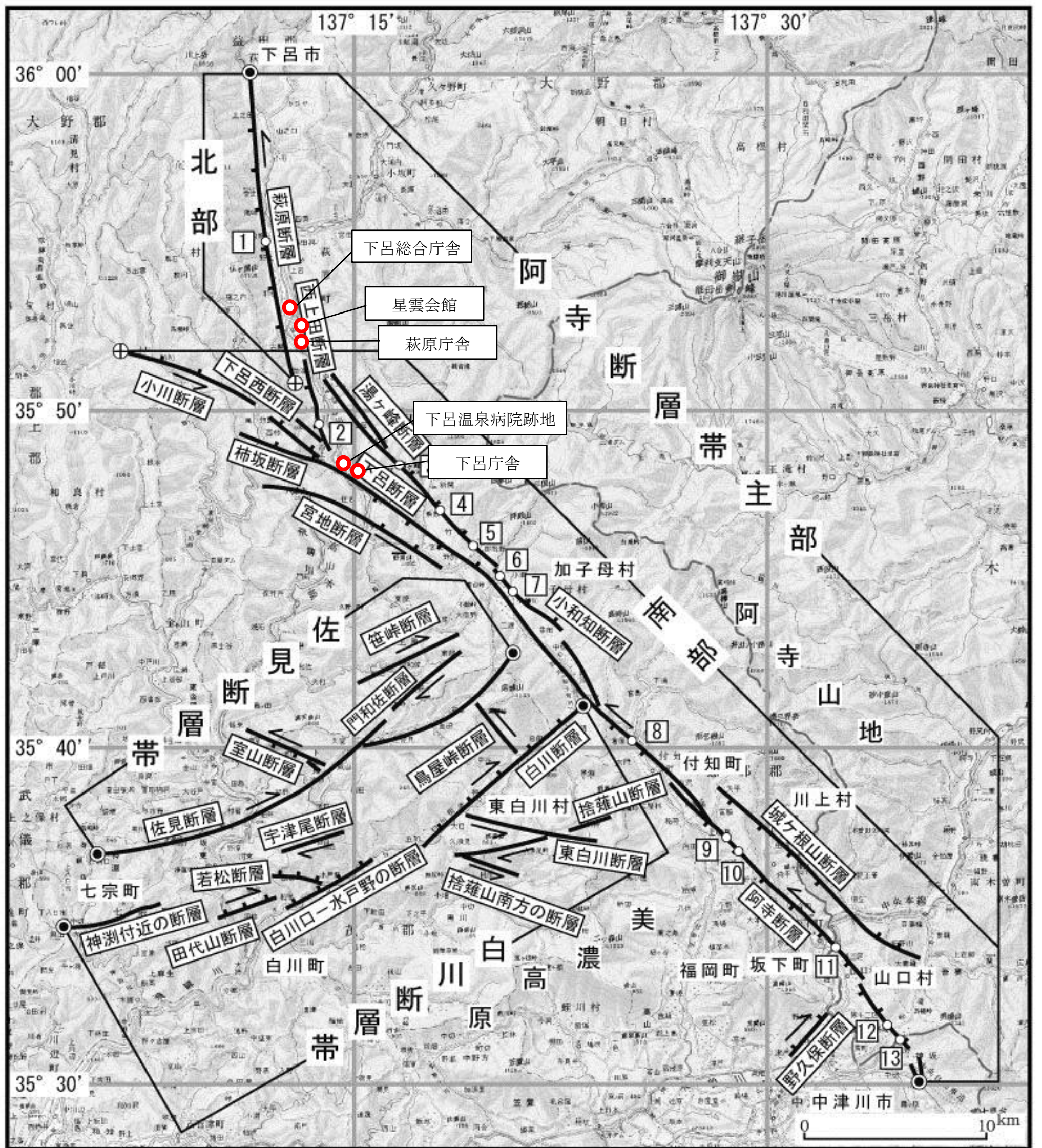
^{*1} 広島工業大学、^{*2} 京都大学、^{*3} 東京大学、^{*4} 愛知工業大学、^{*5} 東京大学

記号 Legend

活断層 Active Fault	——	最近数十万年間に、概ね千年から数万年の周期で繰り返し動いた地塊が地形に現れ、今後も活動を繰り返すと考えられる断層。明確な地形的証拠から位置が特定できるもの。
活断層(位置やや不明確) Active Fault (site indistinct)	- - - -	活断層のうち、活動の痕跡が侵食や人工的な変形等によって改変されているために、その位置が明確には特定できないもの。
活断層(活断曲) Active Flexure		活断層のうち、変位が軟らかい地層内で散発し、地表には跡を残さずともみとして現れたもの。たわみの範囲及び傾斜方向を示す。
活断層(伏在部) Active Fault Trace (concealed)		活断層のうち、最新の活動期以後の地層で覆われ、変位を示す地形が露出していない部分。
横ずれ Strike Slip	——>	活断層の相対的な水平方向の変位の向きを矢印で示す。
縦ずれ Dip Slip	——	活断層の上下方向の変位の向き。相対的に低下している側に短線を付す。
トレンチ調査地点 Trench Survey Site	□	活断層の通過地点に調査溝(トレンチ)を掘り、断層運動の解明調査を行った地点。(これまでに各種調査研究等によって調査が実施されたもの)
活断層露頭 Active Fault Exposure	○	最近数十万年間に堆積した砂礫層などを切断し、活断層であることが確実に判明した露頭。現在は露出がなくなると記載。
活断層の名称 Name of Active Fault	野島断層(例)	活断層の固有名称。
推定活断層(地表) Presumed Active Fault	——	地形的な特徴により、活断層の存在が推定されるが、現時点では、活動年代が明確に特定できないもの。
推定活断層(地表) (やや不明確) Presumed Active Fault (indistinct)	- - - -	地形的な特徴により、活断層の存在が推定されるが、現時点では明確に特定できないもの。または、今後も活動を繰り返すかどうか不明なもの。

1:25,000 下呂
500 0 500 1,000 1,500m

平成17年調査・編集
平成18年11月発行
著作権所有 国土地理院
資料調製 国土地理院
発行 国土地理院



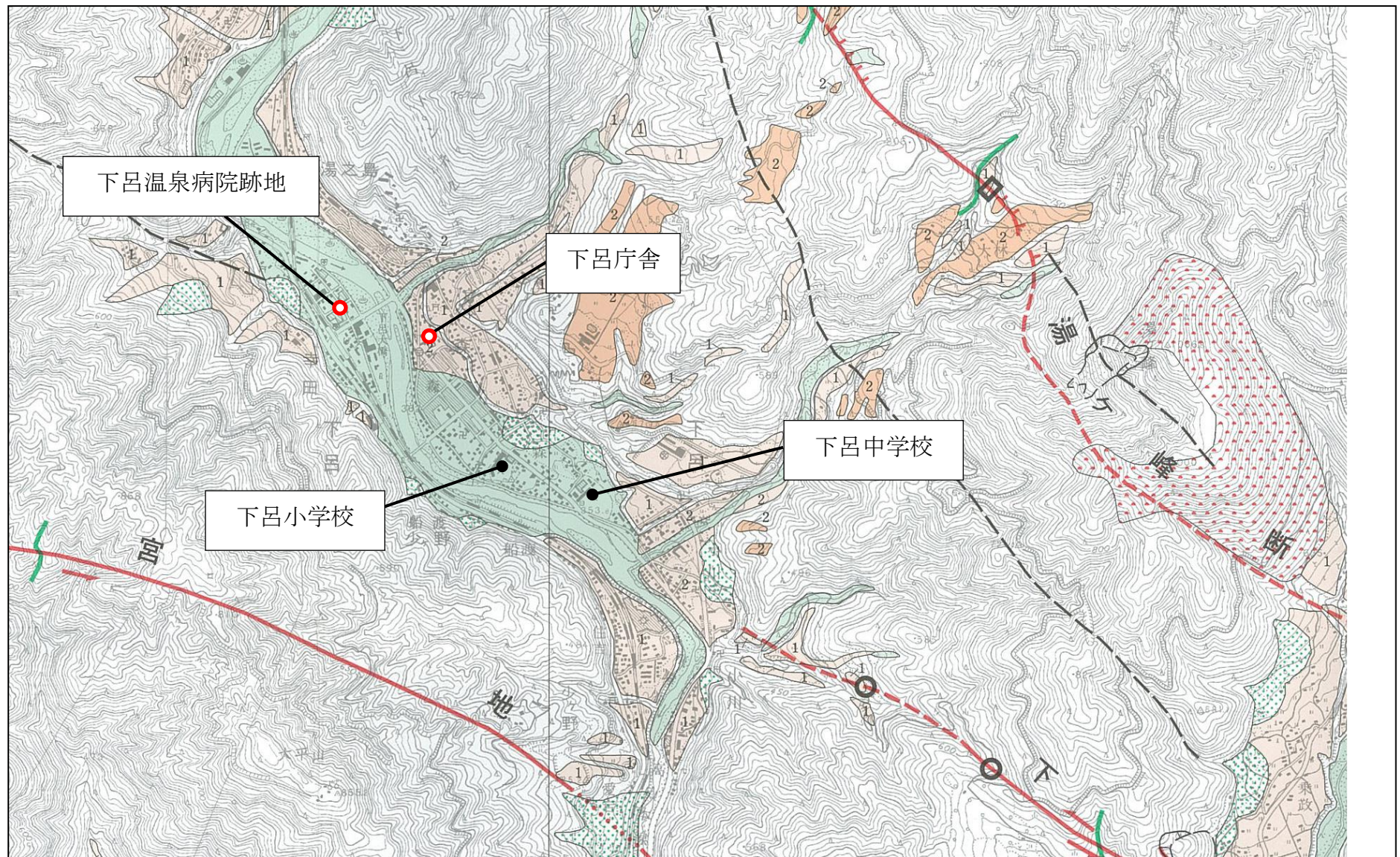
※文部科学省研究開発局地震・防災研究課 地震調査研究推進本部事務局

政府の地震調査委員会は9日、岐阜県東部にある活断層「阿寺（あてら）断層帯」の北部で地震が発生する確率が、東日本大震災の影響で高まった可能性がある」と発表した。確率が高まった可能性があるのは、阿寺断層帯のうち、北部の同県下呂市に延びる「萩原断層」（長さ約17キロ）。マグニチュード（M）6・9の地震を起こすとされる。

同断層の30年以内の地震発生確率は大震災前に最大11％と評価され、国内の活断層の中でかなり高い。大震災から約半年間の地殻変動の影響を調べた結果、断層が動きやすくなるように働く力が基準値を超えた。

※2011.9.10 産経新聞から

断層について（下呂地域）



庁舎・振興事務所の耐震化について

耐震化の検討について

次の庁舎・振興事務所について、耐震工事を行い施設の設備更新・機能回復（大規模改修）を行った場合の費用等について検討しました。

【対象施設】

下呂庁舎、萩原庁舎（北舎除く）、星雲会館旧館、小坂振興事務所、馬瀬振興事務所（馬瀬中央公民館含む）

耐震化について

耐震改修工事を行うということは、地震に対して建物が耐え得るか構造上のそれぞれの問題を見出し、地震で崩壊しないよう人々の生命と財産を守るために行うものです。

いずれの施設も昭和 35 年から昭和 53 年に建設された施設であり、耐用年数も長いもので 54 年を経過しています。

鉄筋コンクリート造の耐用年は 50 年から 60 年が通常であり、仮に無理に耐震補強工事を行ったとしても躯体（本体）自体の寿命は無いものと言って過言ではないと思われます。

また、現在の施設そのものの機能や管理経費なども効率が悪く不経済でもあります。仮に耐震改修を行ったとしても、下呂庁舎等は構造上エレベーターの設置やバリアフリー化が困難であり、高齢化が進む現代において高齢者・障がい者等の対応できないという問題を抱えます。

耐震化にかかる費用について

それぞれの施設の構造や間取り、階数等が違いうように、耐震診断の結果を踏まえ構造上の問題を補う箇所や工法もそれぞれで、個々の対象施設で検討しなければ概算費用も積算することは困難です。

参考までに過去 10 年程前から実施してきた 5 学校施設の耐震改修工事のデータから、総工費で換算すると、平均 72,000 円/㎡となりますが、庁舎機能を有する施設は学校施設の構造より複雑かつ設備も多いことなどから、4～5 割程は高くなると想定されます。

平成 20 年度に完成した三重県四日市市庁舎耐震改修工事は、昭和 47 年に建設された地上 11 階地下 2 階建の延べ面積 22,755 ㎡規模の SRC 造であるが、請負金額 2,765,415,450 円（税込）で実施しており、このデータから換算（消費税 10%）すると、耐震改修工事の㎡あたり単価は、建設年度や構造等で相違はあるものの、約 127,000 円程度となりますが、6 年前の金額であり現在は何割かの割増にあると想定されます。

以上のことから、建物の規模や構造（間取り）、建設時期にもよりますが、現在では、耐震改修 100,000 円/㎡、改修（設備含む）100,000 円/㎡と想定し、㎡あたり 200,000 円程度はかかるの見込まれます。

耐震改修対象施設別の試算

施 設 名	建設年度	構 造	延べ面積(㎡)	基準単価(円)	想定工事費(円)
下呂庁舎	昭和 41 年	地上 3 階 地下 1 階 R C 造	2,871	200,000	574,200,000
萩原庁舎 (北舎除く)	昭和 35 年	地上 3 階 R C 造	1,565	200,000	313,000,000
星雲会館旧館	昭和 48 年	地上 5 階 R C 造	1,980	200,000	396,000,000
小坂振興事務所	昭和 41 年	地上 4 階 地下 1 階 R C 造	1,620	200,000	324,000,000
馬瀬振興事務所	昭和 53 年	地上 3 階 R C 造	1,003	200,000	200,600,000
合 計					1,807,800,000

※基準単価は、消費税（10%）を含んでいます。